

Ver.1.0



ひなちゃんを、幸せに



終わった…

そ…
そっか

一世一代の
覚悟で挑んだ
俺の告白

さんばい
惨ッ敗!!

ここから
俺にできる事は
潔くここから
立ち去ること

わざわざ屋上
来てくれて
ありがとう!!
じゃあ
また!!

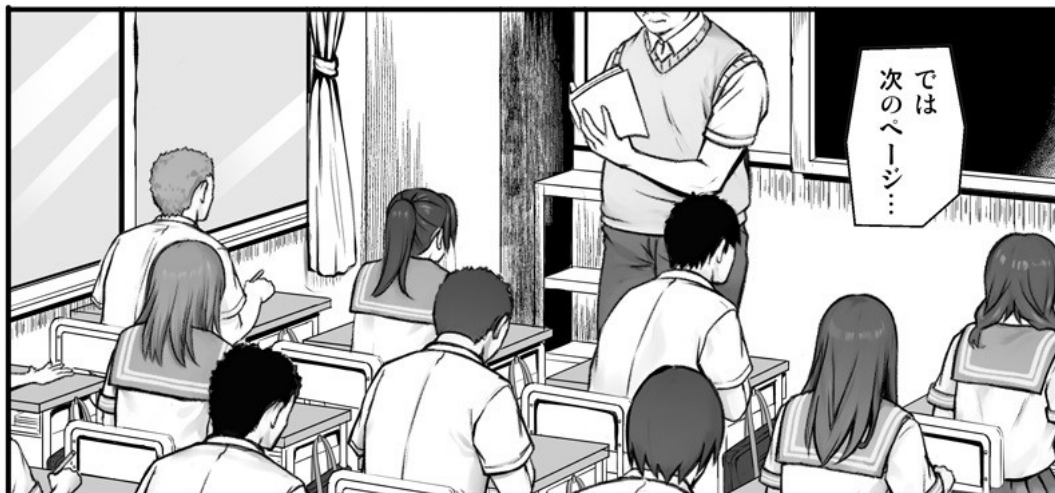
ただ…
別れ際にちらっと
見えた

//
あの表情が…
妙に焼き付いて



頭から
離れない

ひなちゃんを、幸せに



片瀬ひな

かたせ

クラスは2つ隣で
普通科文系

部活は
入ってない



聞くとところに
よると
口数はかなり
少ないらしく

笑顔を見た
人はゼロ

暗めなのかも
：しれない



友達と
呼べるような
相手も特に
いないとの事



そんな片瀬さんと
接点ができたのは
偶数クラス同士の
体育の授業：

お互い
体育委員
ということ
用具準備が
一緒だった

で、ある日…

なわ
ッわ



一目惚れ
だったー!!

大丈夫?

ドサ...

ドジ全開で
それはもう
情けない瞬間だった
とは思うけど

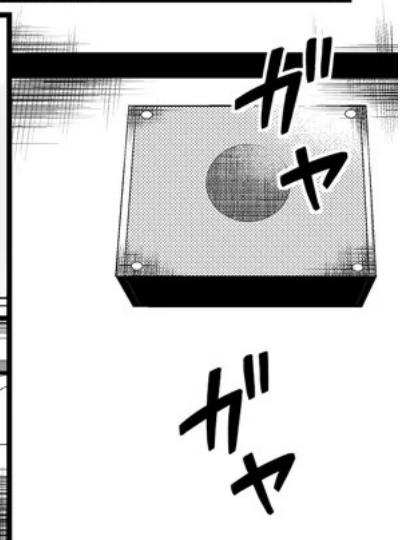
ダイジョブ
……です

ドキ

ドキ

ありがとう
……







お前も
変わってるよな

よりにもよって
あの謎の存在に
告白って

別に…ちよつと
口数が少ない
だけじゃん



…なら 告白するって
言うから
伏せておいた
爆弾1つ

中学時代の噂でジジイと
ラブホ入ったところ
見たことあるヤツが
いるんだってよ



それだけじゃ
遅刻多くて
問題生徒
扱いだつてよ

きっと朝が
弱いんだ彼女
俺もだから
分かる



パパ活
してんじゃね
って…



暗いって
レベルを超えた
無の表情が
怖くね？

動物的
可愛さって
とこかな…
愛想笑い
しなくても
動物かわい
さだろ…

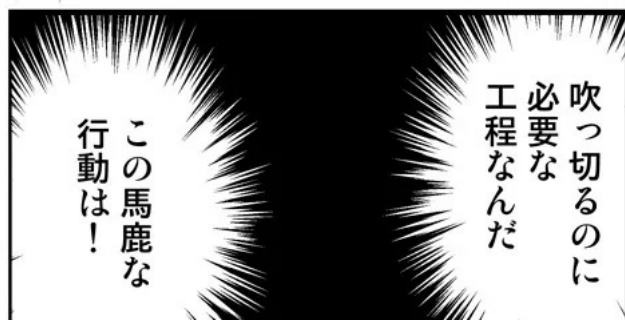
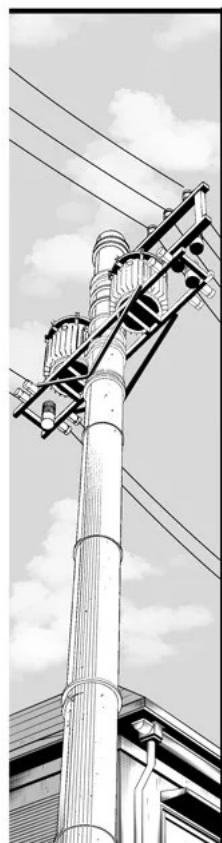


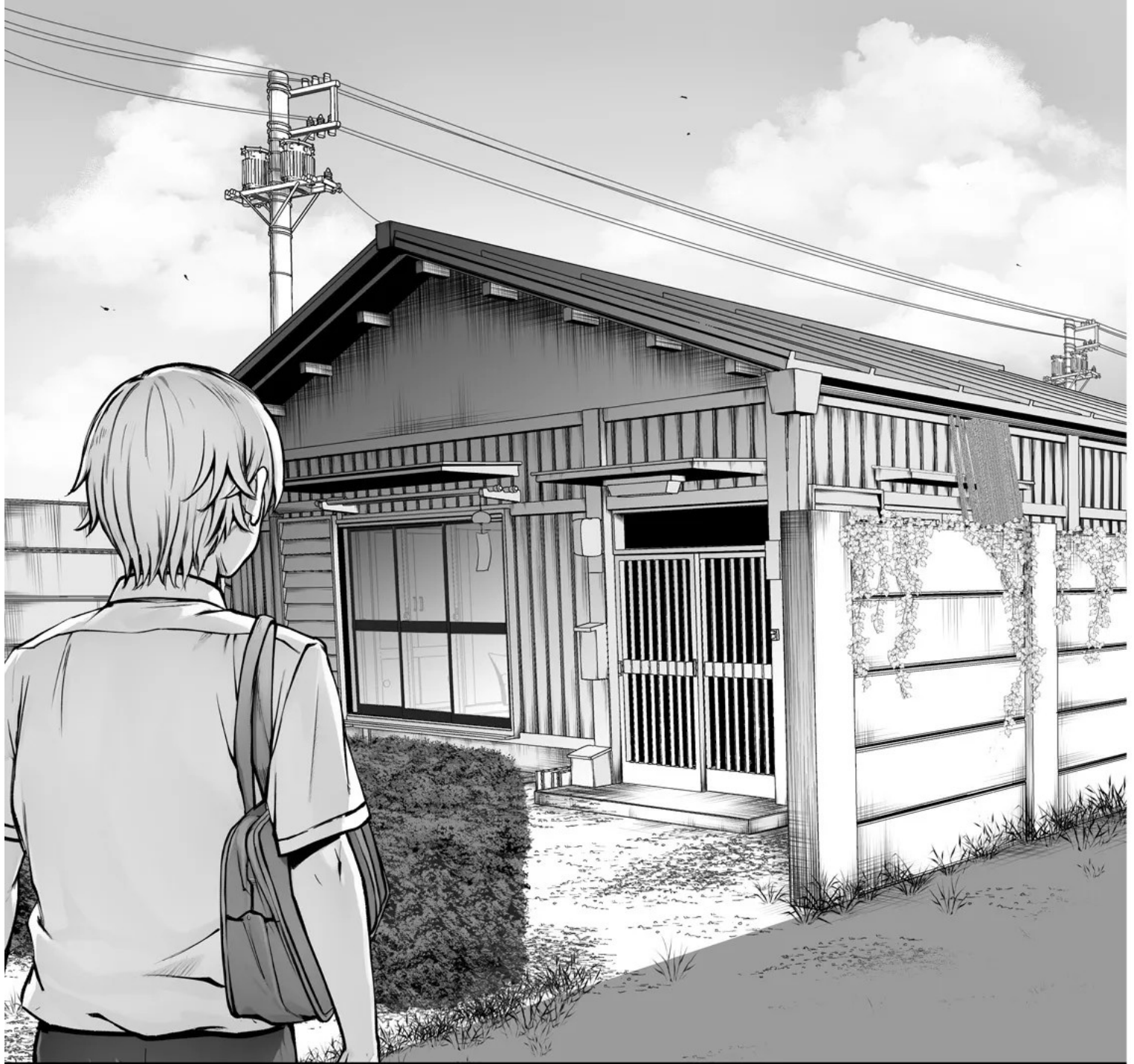
だからうであの
別れ際に見えた
表情が

頭に焼き付いて
離れない事に
変わりはない



確かにそれは
未練を断ち切るに足る
爆弾情報なのかも
しれないけど…







ちよ…とおじいちゃん
ほんとに…
止めてよ

大丈夫
大丈夫…

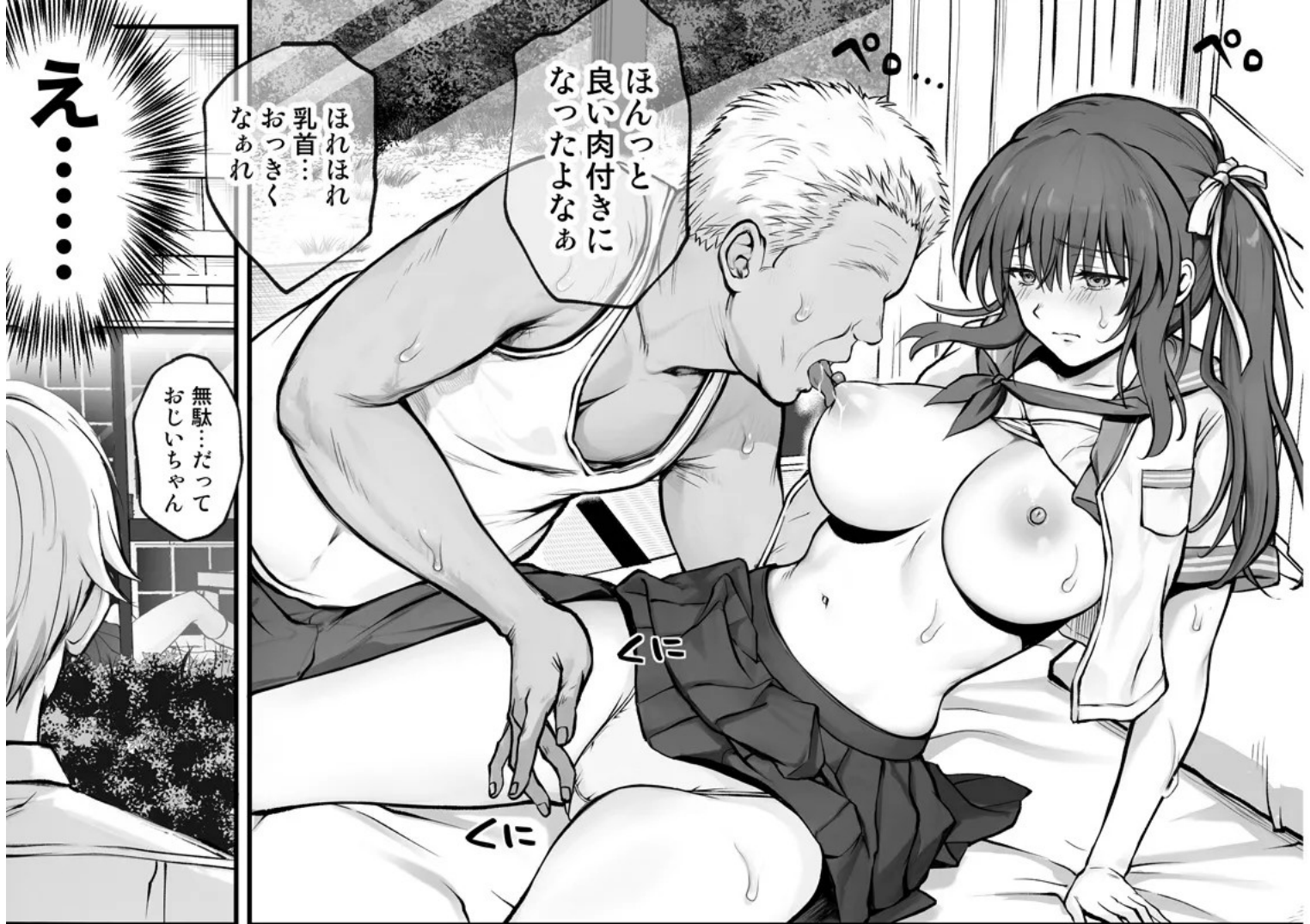
こっち
来なさい
ひなちゃん…

何なんだよ
あいつ…

片瀬…いま
『おじいちゃん』
って言ったか？

こんな
寂れたところ
昼過ぎりや
郵便も来んわ

ガサ…



うッ……そ
だろ

ほんとに……
始めるのか
……

ッッッッ

ほんとに……
ッ

グッッッ

ん……

グッッッ

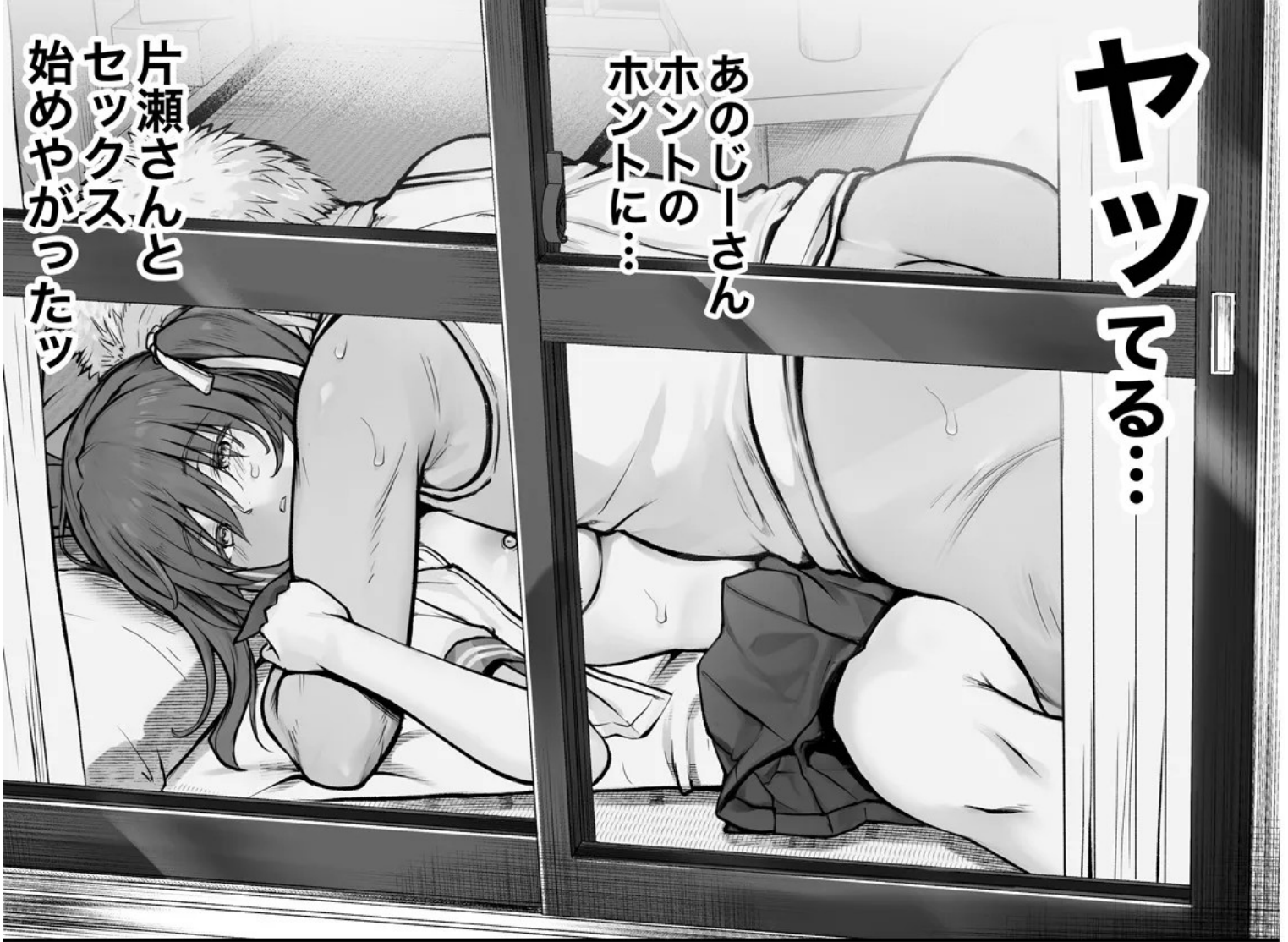
ッ
?!

グッッッ

ヤツでる…

あのじーさん
ホントの
ホントに…

片瀬さんと
セックス
始めやがったツ



とんでもない
ものを
見てしまった…

理解が
追いつかない



ひなちゃん…
いつもより頬が
赤くないかい？
もしかして
感じてたり
とかデ

そんなわけ
ないから…
早く終わらせて…



聞こえにくい…
何を喋ってるんだ
あの二人



どー考えても
一回まず
片瀬さんに事情を
聞かないと
軽くは動けないッ

今日のところは
証拠集めして
明日片瀬さんに
相談？

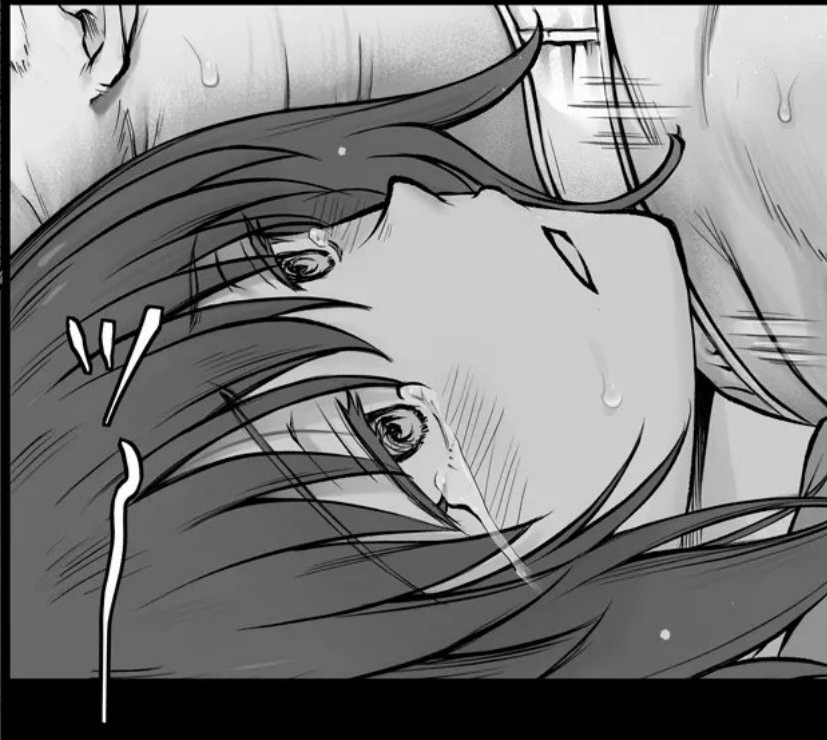
いや待て：
それじゃ今は？

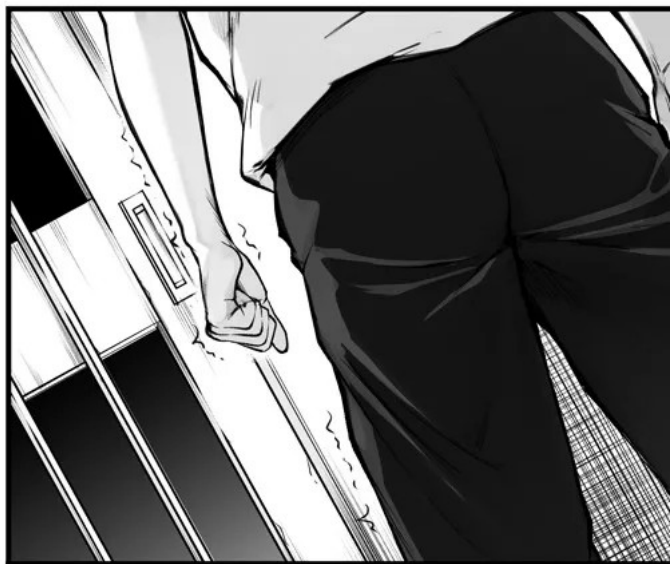
このまま黙って
これ見過ごせって
あり得ないだろ

どうするッ

どうすんだ
これッ！

どう——







ひ…ひなちゃん
大事なプリント
忘れてったよ!!

コレ無いと絶対
明日 困るから!

ダッシュで届けにきた!!



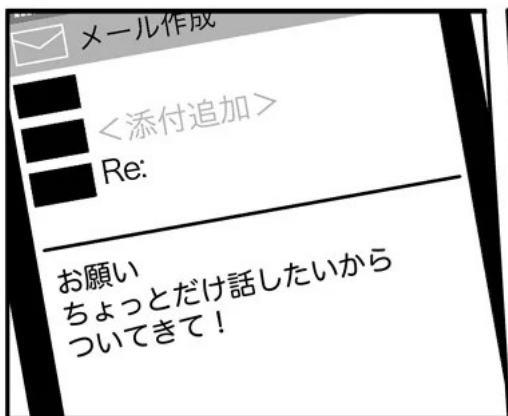
ニハ見て

これ!!



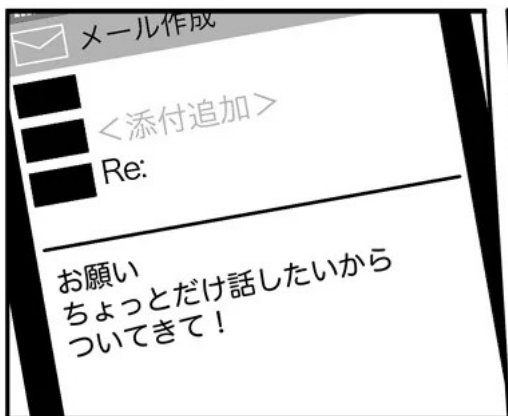
…?

キーン



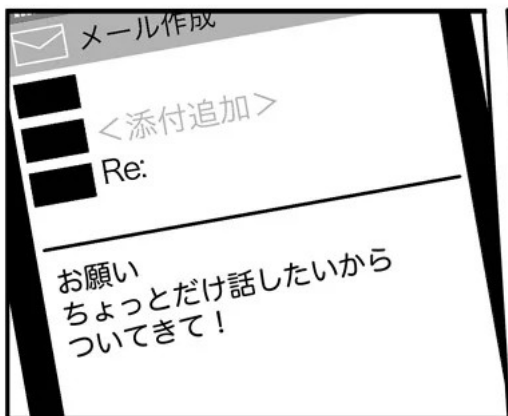
…なに?

キラ



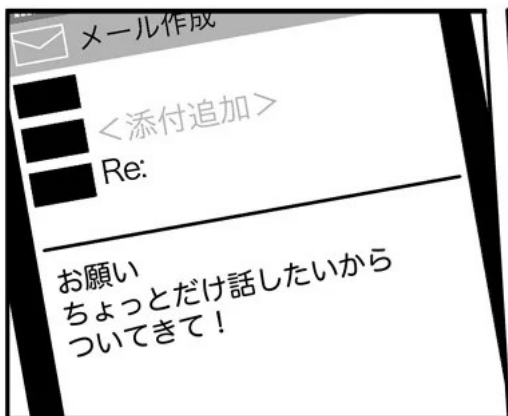
…なに?

キラ



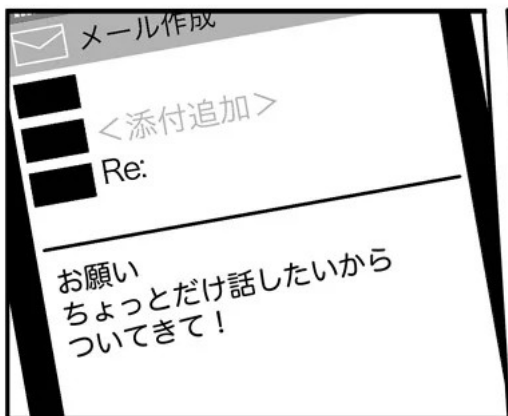
…なに?

キラ



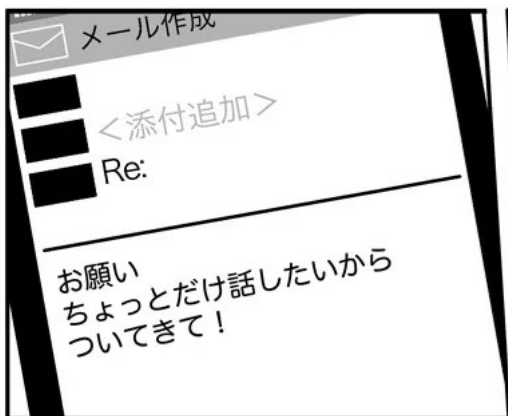
…なに?

キラ



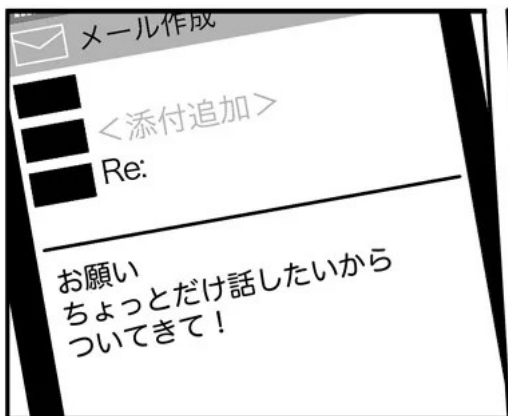
…なに?

キラ



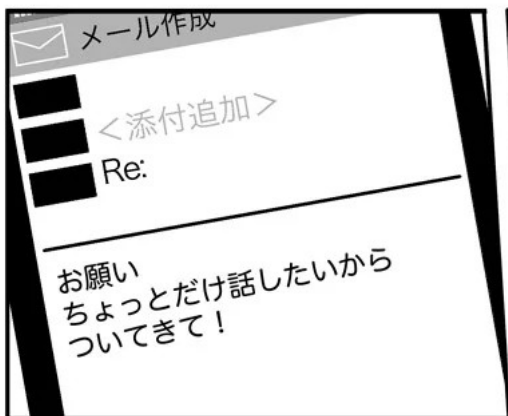
…なに?

キラ



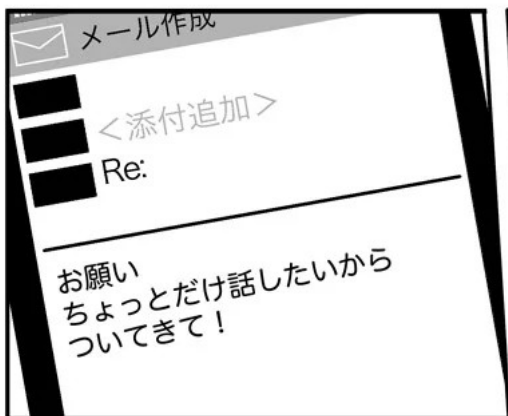
…なに?

キラ



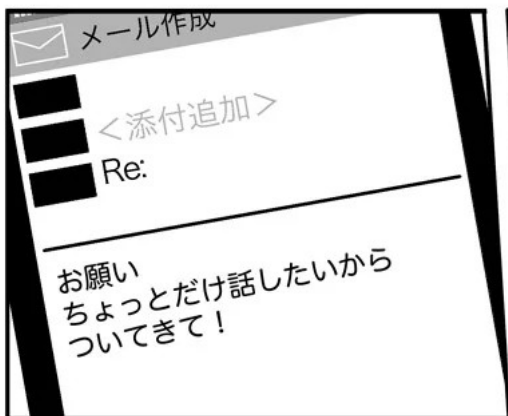
…なに?

キラ



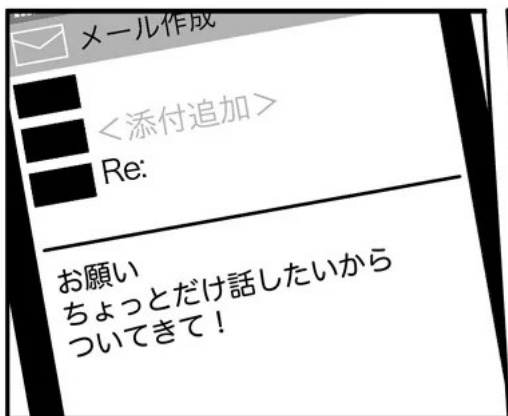
…なに?

キラ



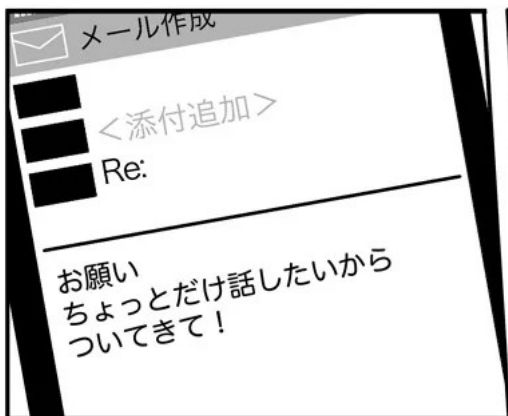
…なに?

キラ



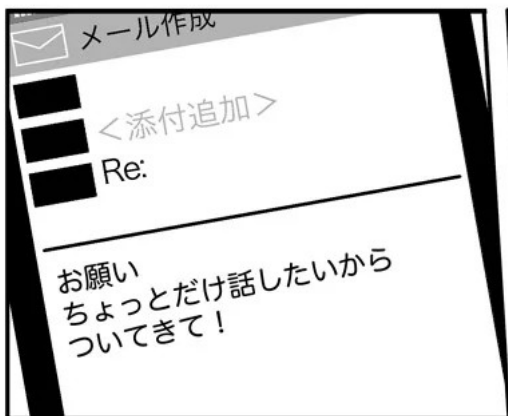
…なに?

キラ



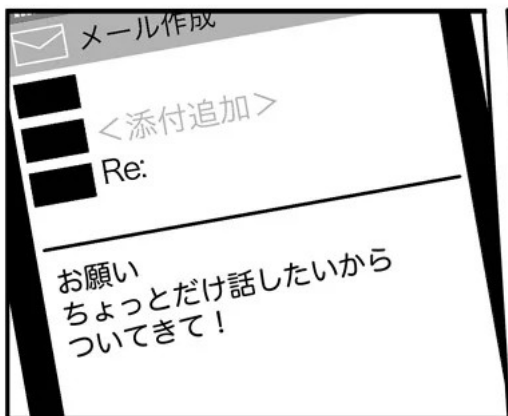
…なに?

キラ



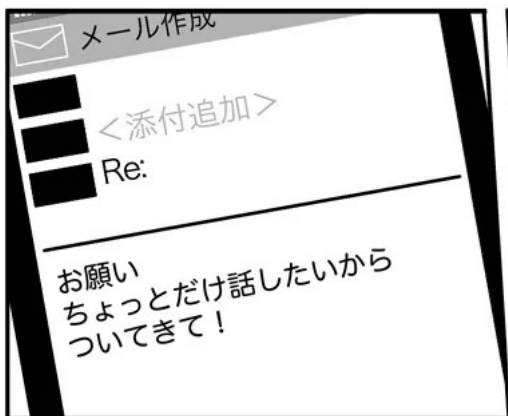
…なに?

キラ



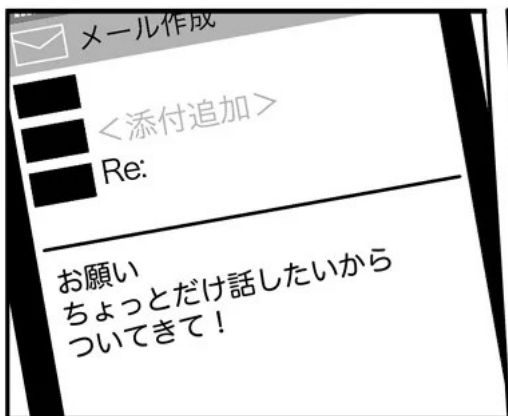
…なに?

キラ



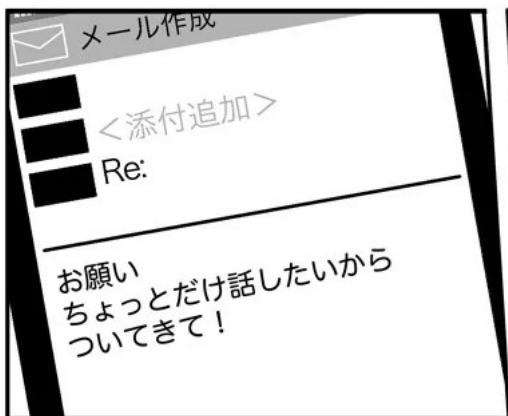
…なに?

キラ



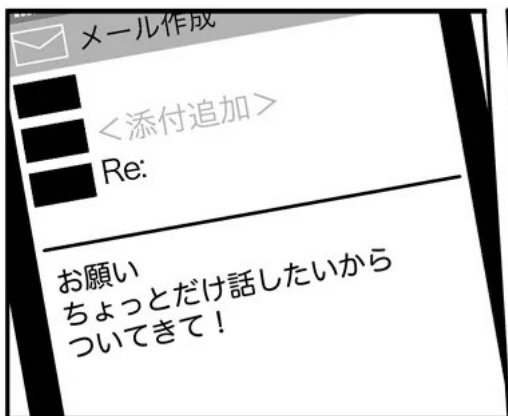
…なに?

キラ



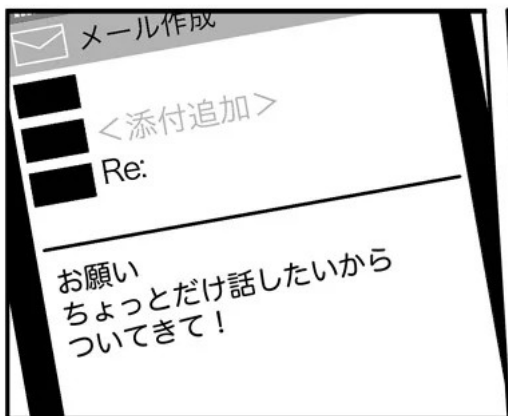
…なに?

キラ



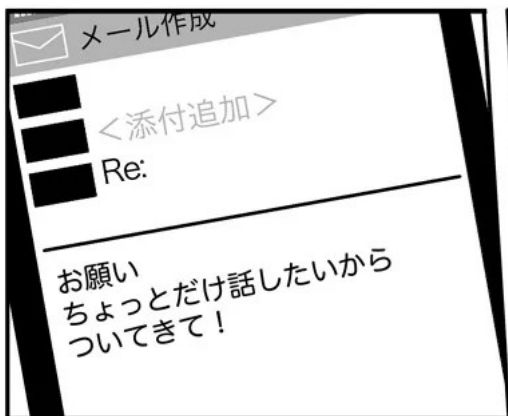
…なに?

キラ



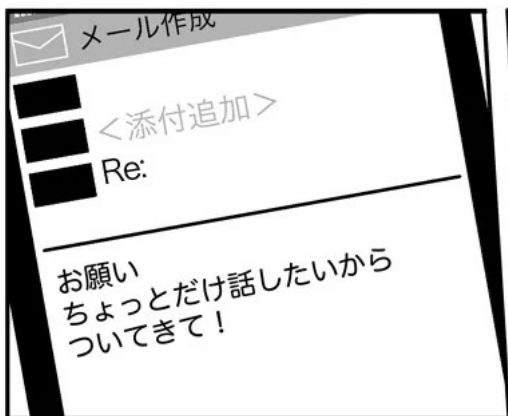
…なに?

キラ



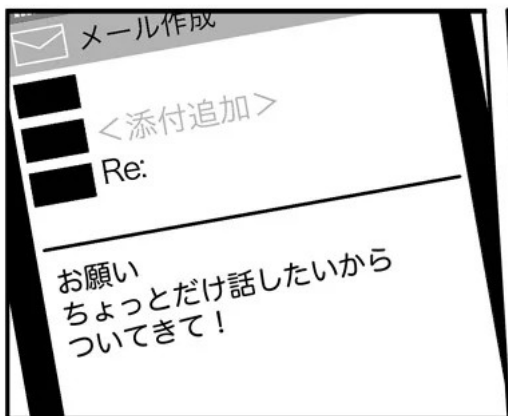
…なに?

キラ



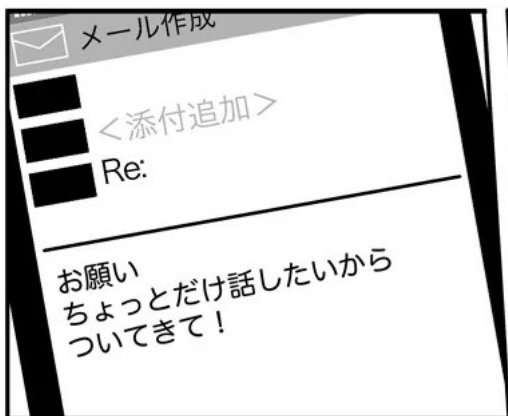
…なに?

キラ



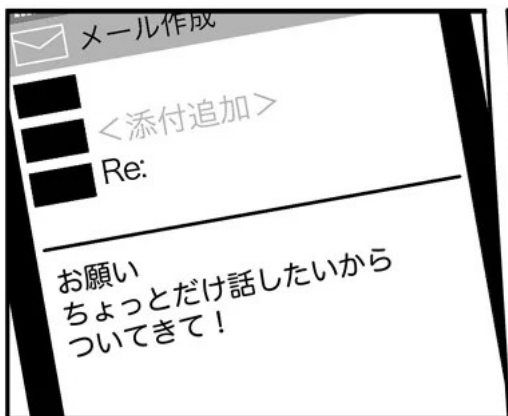
…なに?

キラ



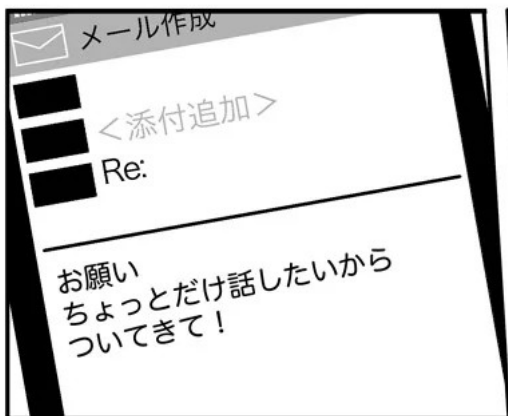
…なに?

キラ



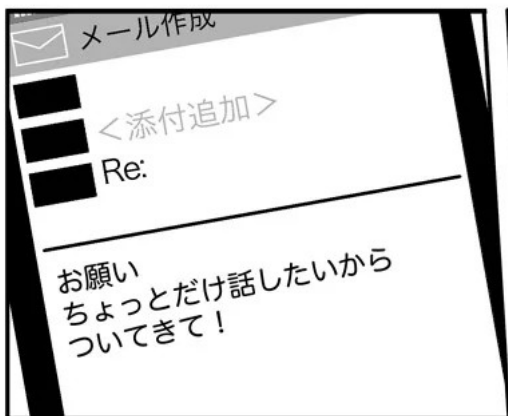
…なに?

キラ



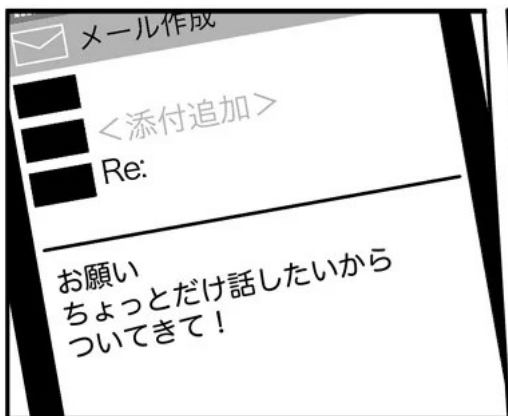
…なに?

キラ



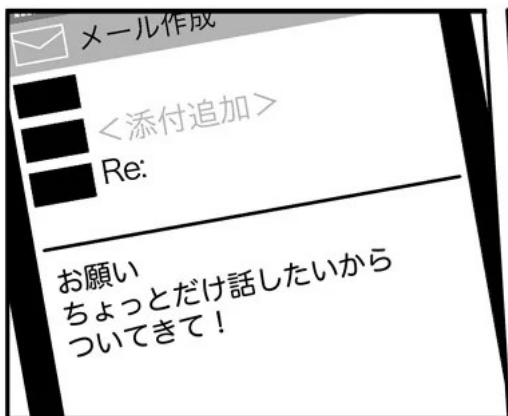
…なに?

キラ



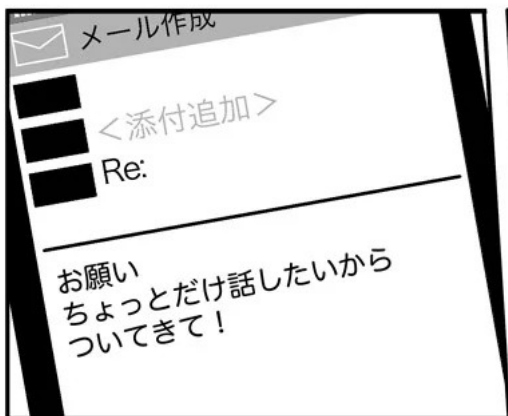
…なに?

キラ



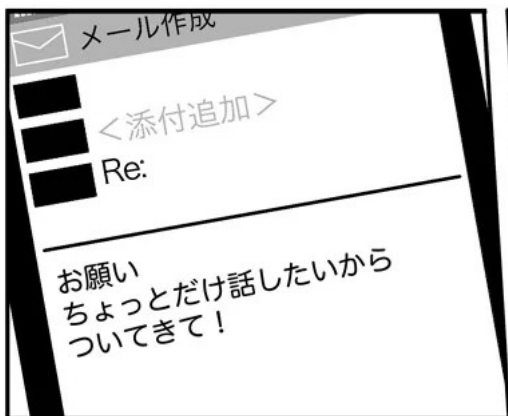
…なに?

キラ



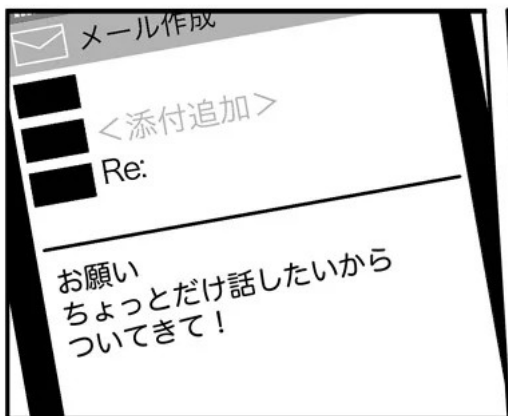
…なに?

キラ



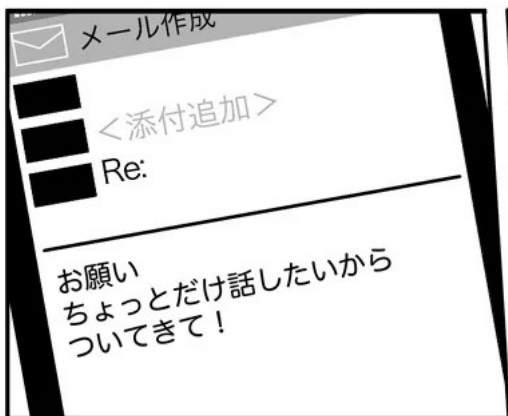
…なに?

キラ



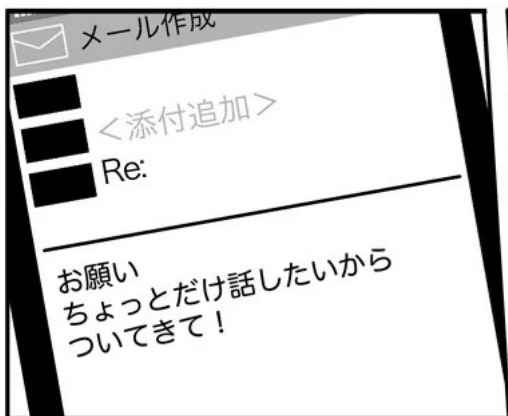
…なに?

キラ



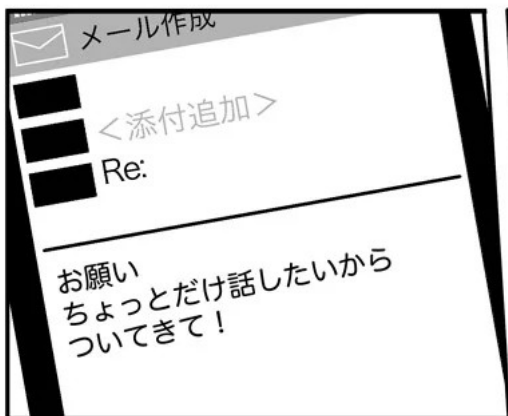
…なに?

キラ



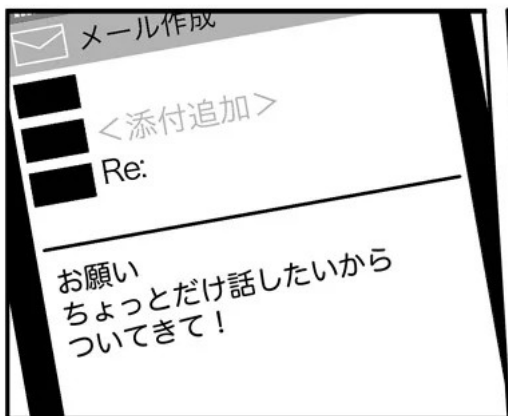
…なに?

キラ



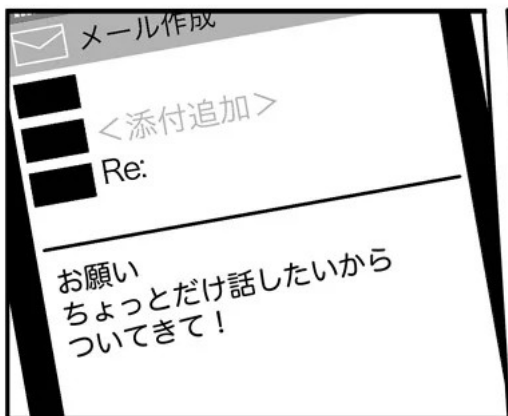
…なに?

キラ



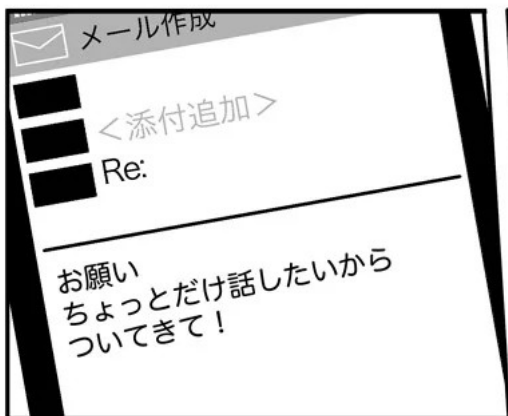
…なに?

キラ



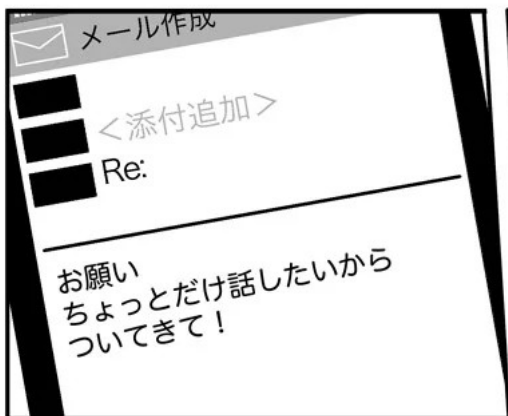
…なに?

キラ



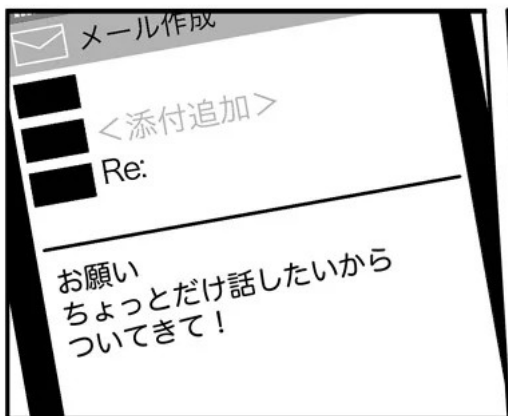
…なに?

キラ



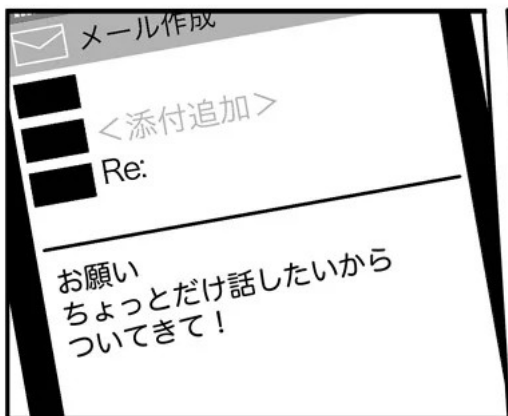
…なに?

キラ



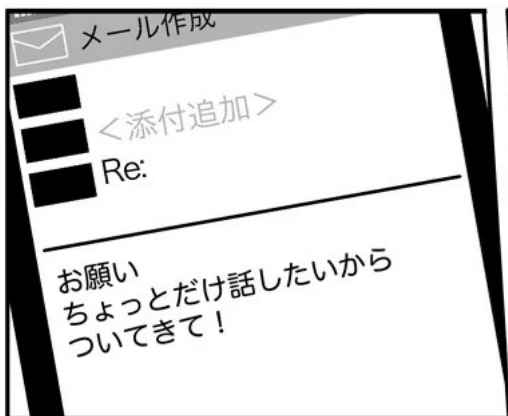
…なに?

キラ



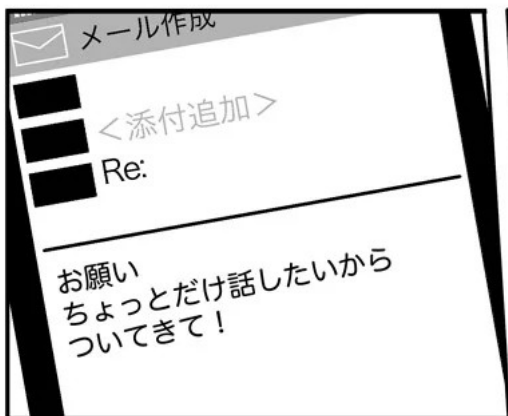
…なに?

キラ



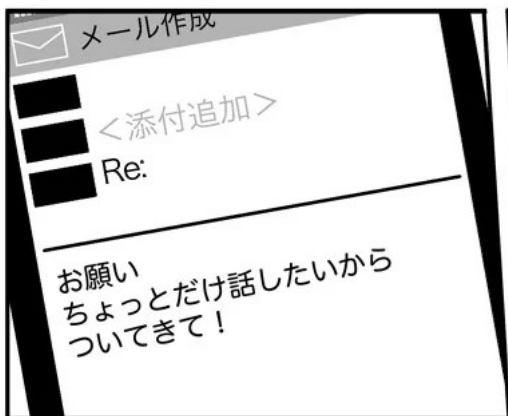
…なに?

キラ



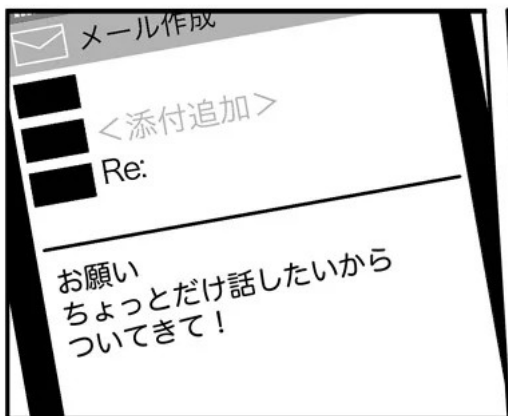
…なに?

キラ



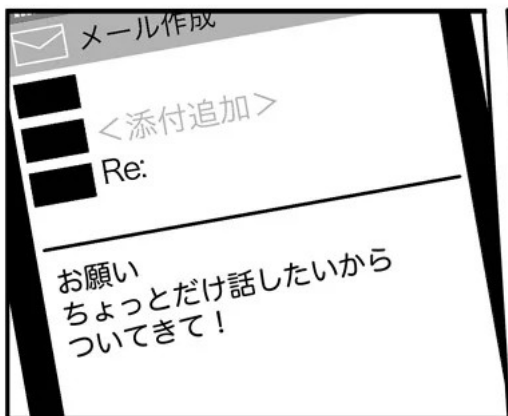
…なに?

キラ



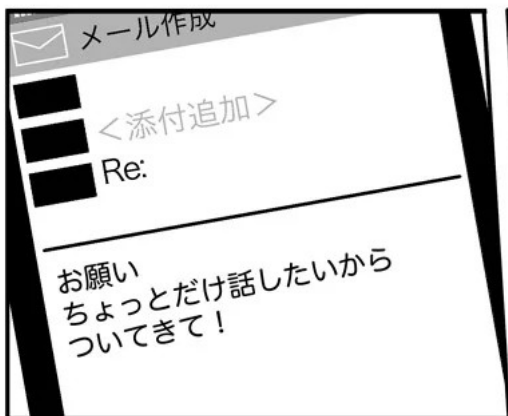
…なに?

キラ



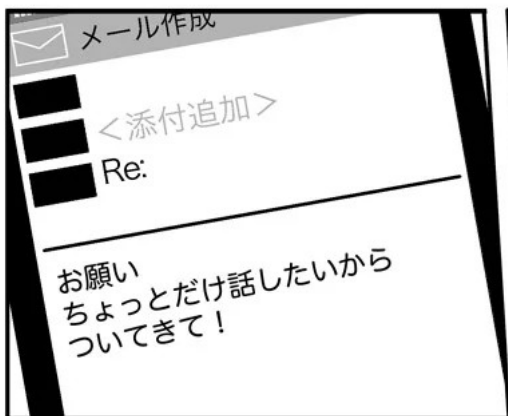
…なに?

キラ



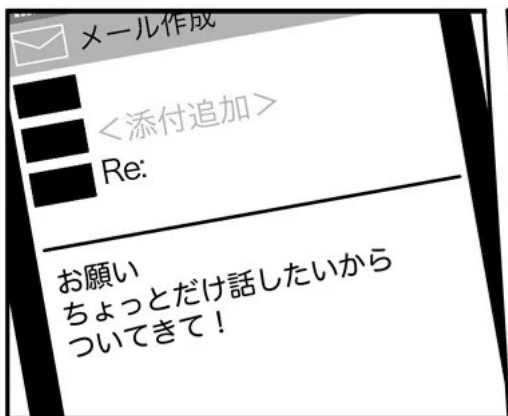
…なに?

キラ



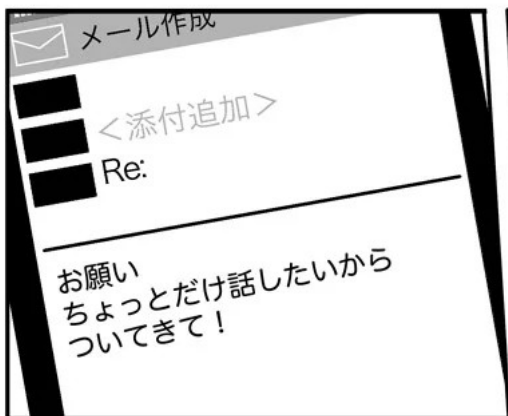
…なに?

キラ



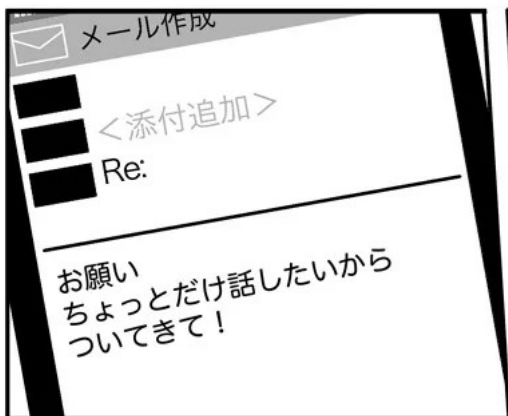
…なに?

キラ



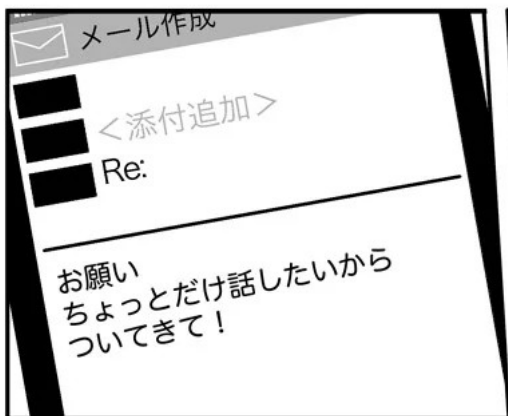
…なに?

キラ



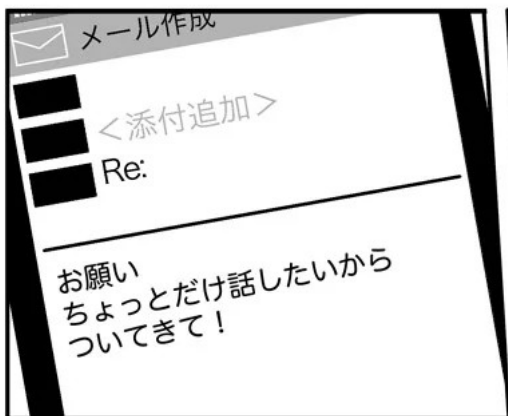
…なに?

キラ



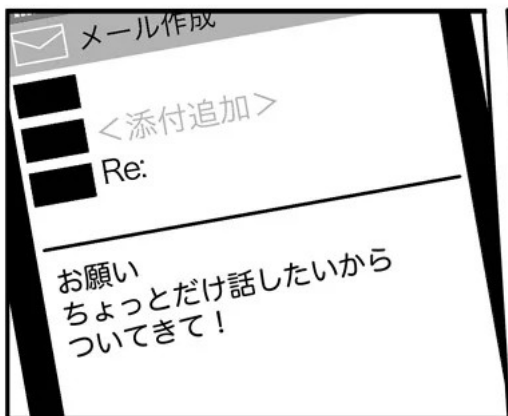
…なに?

キラ



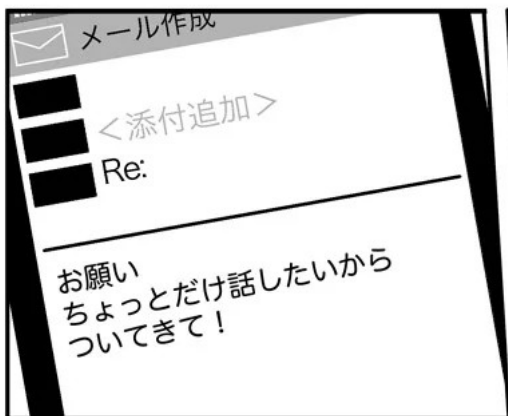
…なに?

キラ



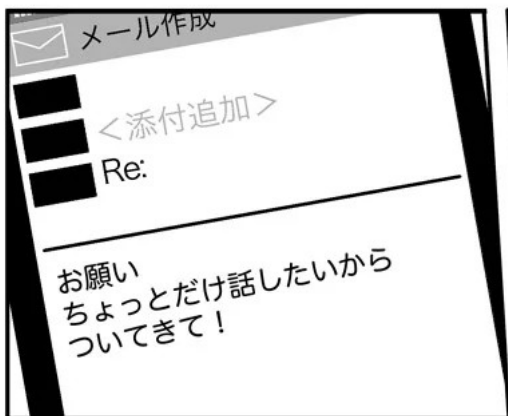
…なに?

キラ



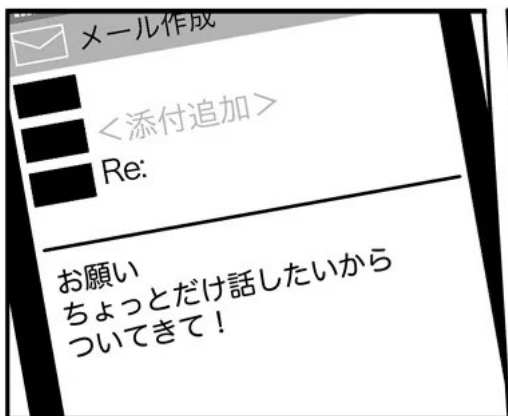
…なに?

キラ



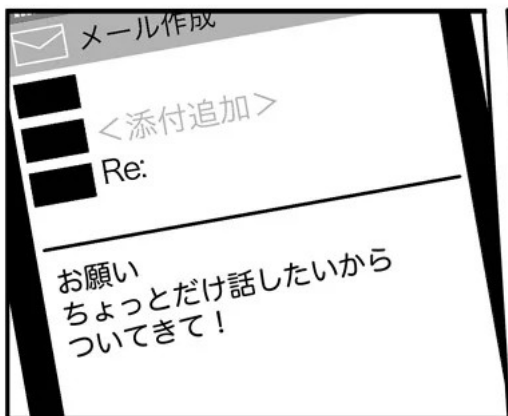
…なに?

キラ



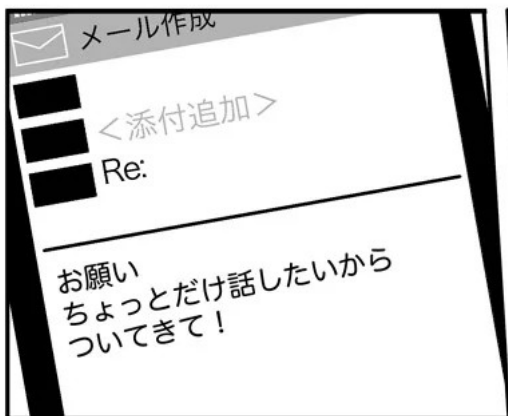
…なに?

キラ



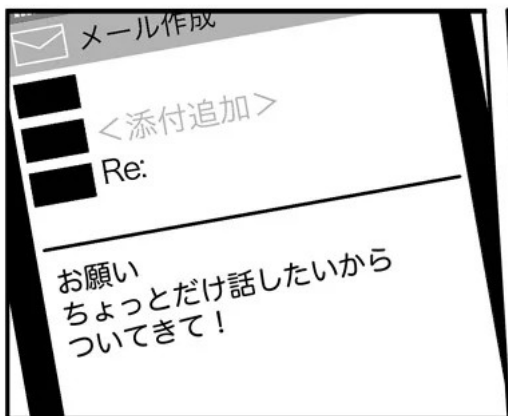
…なに?

キラ



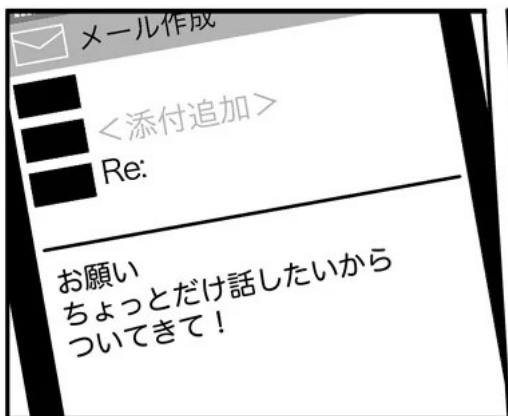
…なに?

キラ



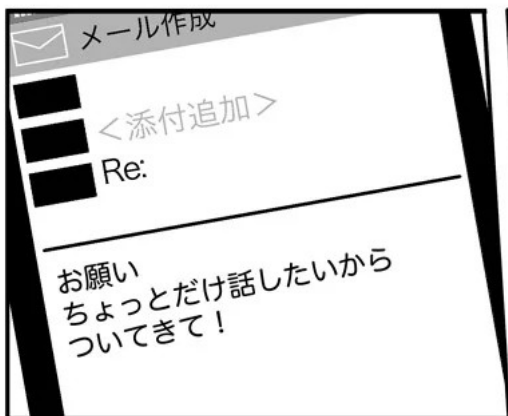
…なに?

キラ



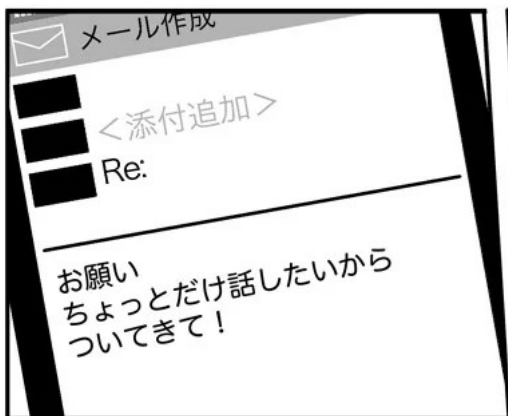
…なに?

キラ



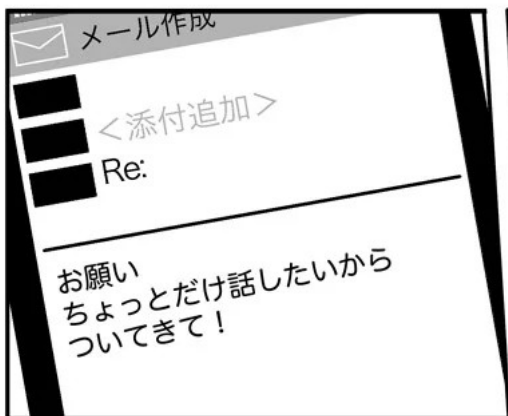
…なに?

キラ



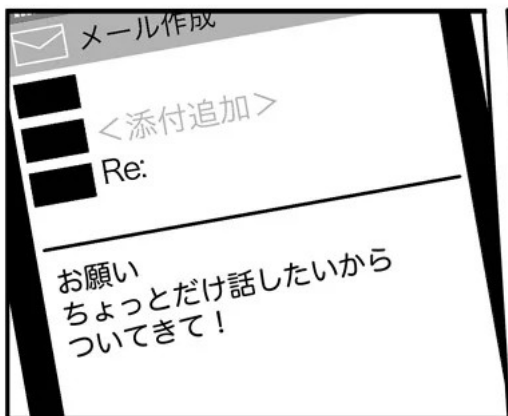
…なに?

キラ



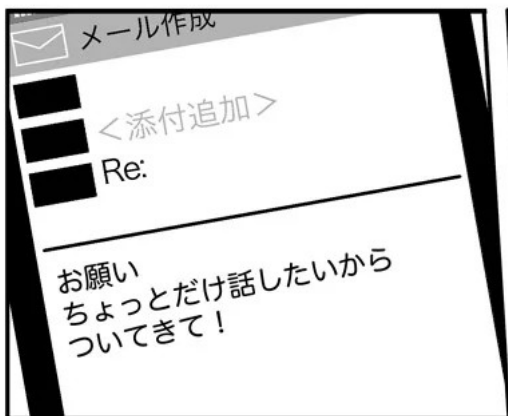
…なに?

キラ



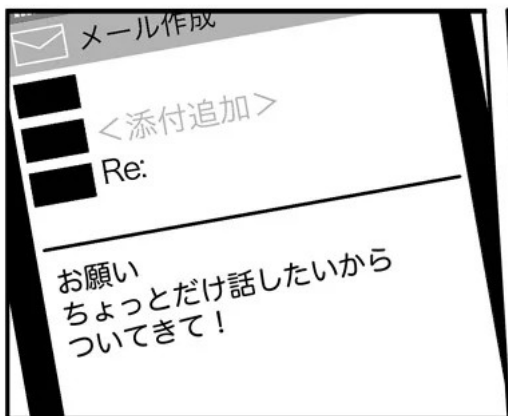
…なに?

キラ



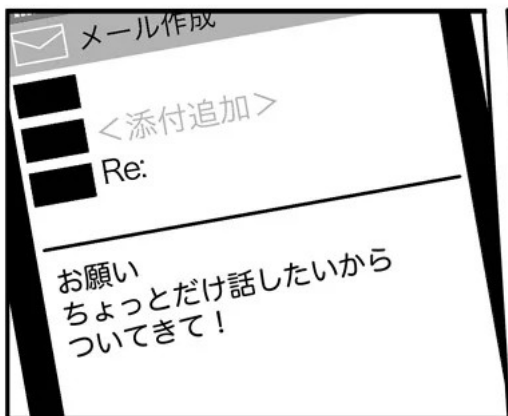
…なに?

キラ



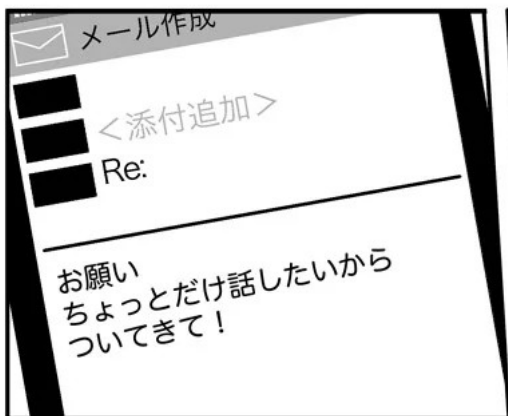
…なに?

キラ



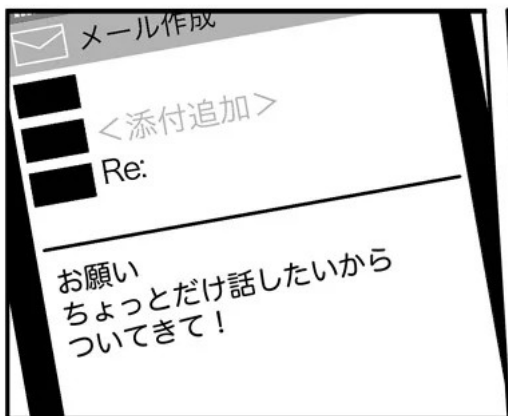
…なに?

キラ



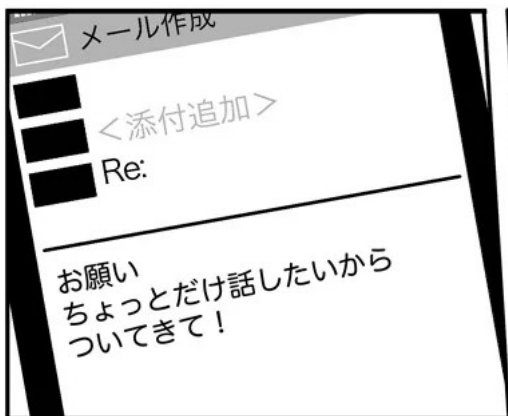
…なに?

キラ



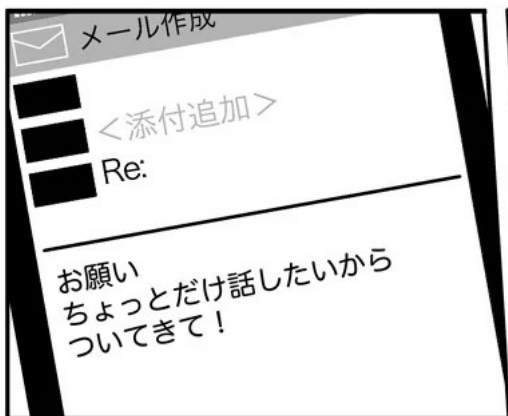
…なに?

キラ



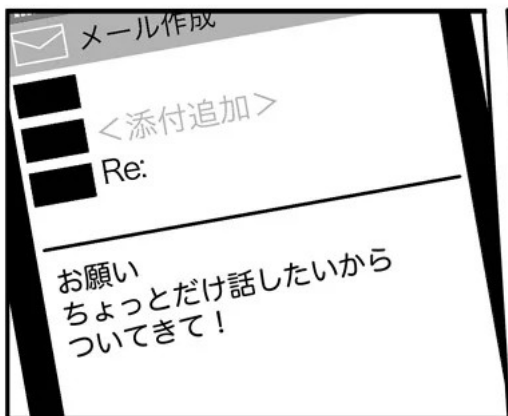
…なに?

キラ



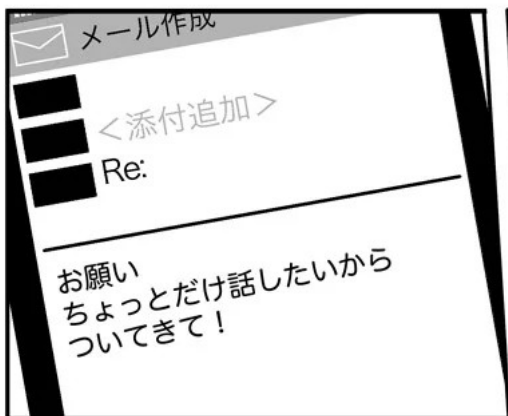
…なに?

キラ



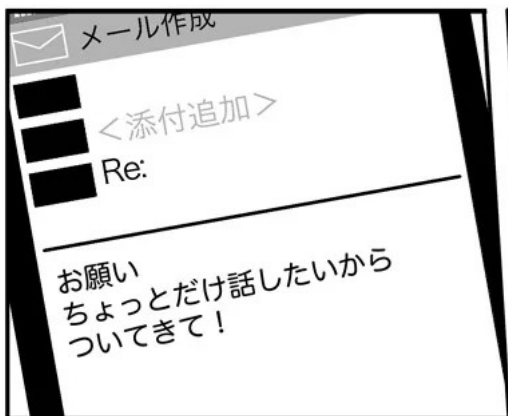
…なに?

キラ



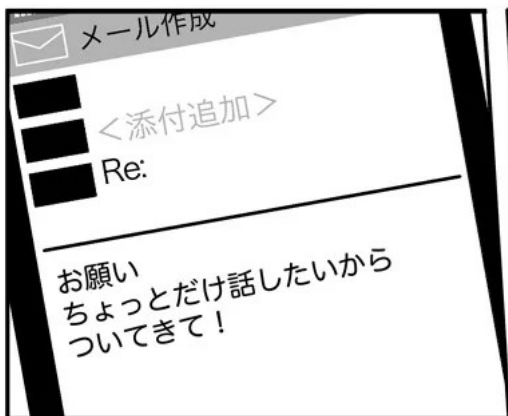
…なに?

キラ



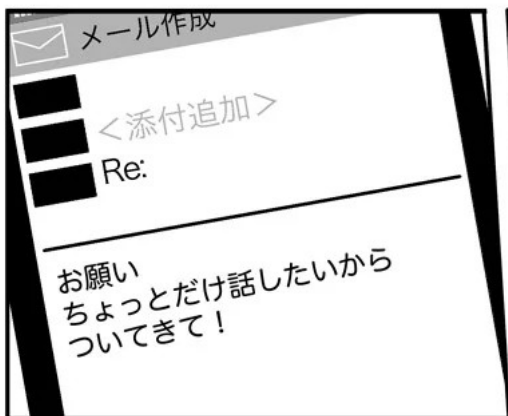
…なに?

キラ



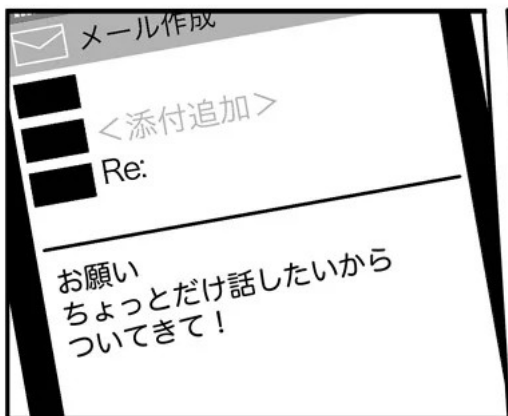
…なに?

キラ



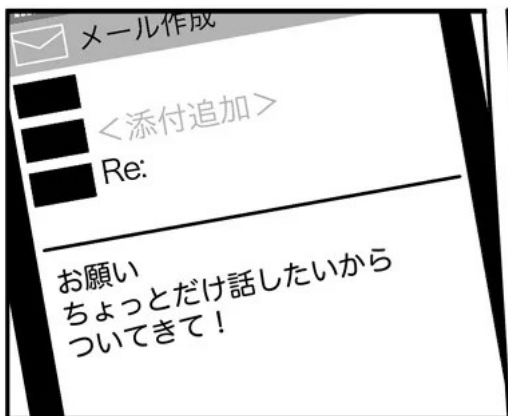
…なに?

キラ



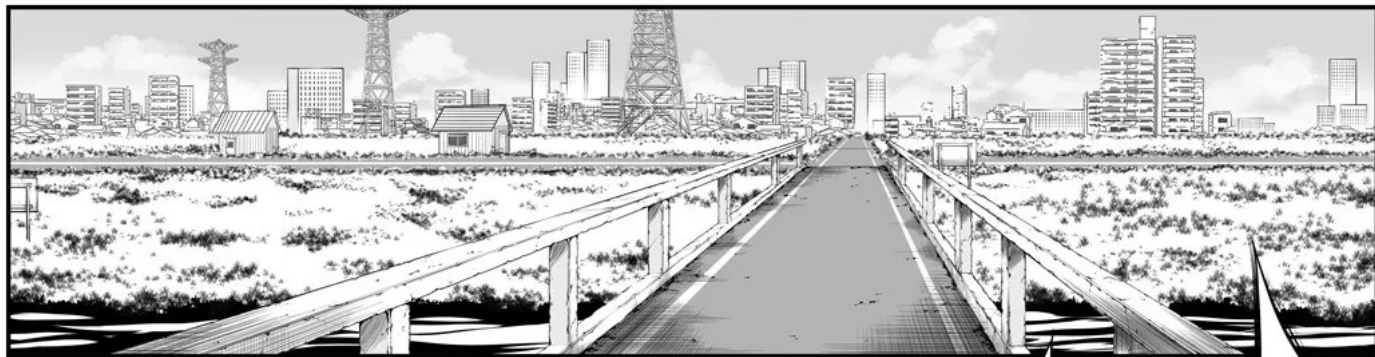
…なに?

キラ



…なに?

キラ</



ごめん!!

ホントに
ごめん!!

どうしても
俺……放って
おけなくて



見ちゃった
んだ全部ッ



困った……な

……そう



…でも……
私もこの前の
屋上での件

理由も言わずに
断った事が
ずっと苦しかったから
丁度いいかもしれない

見ての通り私は
家で「ああいう事」を
されてるの

それが
告白を
断った理由

中学入った頃から
ずっとこんな調子

私は親がどっちとも
死んじゃってて……
引き取ってくれた
おじいちゃんには
感謝もあるから
……複雑なの

……そう
……なんだ

……やつば重い
軽々しく警察
とかって言えねー
雰囲気ッ

これは覚悟が……
相当いるッ
ごつから先
関与するんなら
生半可じゃ駄目だ

あ……のッ

それを
承知の上で
もう一回告白
してもいい？

あ……ありがとう
でもそれだけ
じゃないんだ

……私……初めて
おじいちゃんに
「された」時あまりに
ショックで

そういう行為に
身体が全く
反応しなく
なった

……だから……
その……あなたも
男の人だから







いやでも待てよ
ここで「そういつのいいから」とか
「変だよなんて拒絶するの
ひなちゃんの人格を否定するようで
傷つけちゃうかもしれないし
もし仮にひなちゃんが好意の表れで
頑張ってくれてたとしたら
受け止められないこっちが意気地ないし
どうしょ…
どうしたもんか

ゴッ
ゴッ

剥くほうがいい？
そのままがいい？

…あ…いや…
……じゃあ

…そのままで

…わたしに
できるのは…
…これぐらい

ポッ…

ポッ…

これなら…
私みたいな
不感症相手でも

はもっ

それなりに
喜んで
もらえるかも…

はわわわ











キスもまだ
してないのに
フェラ
されちゃった…

どうやら
……

俺は
思っていた以上に
とんでもない所へ
足を踏み入れたの
かもしれない
……と思いつつ

気持ち…
良かった？

ひなちゃんの
ために覚悟を
決めて
頑張らねば
って……思った

とっても
良かった
……です

翌日——
俺とひなちゃんは
放課後に
体育倉庫で会う
約束をした

昨日あの後
言った通りに
してくれた？

うん…

おじいちゃんには
『体育委員の集まりを
忘れて帰ってきたのを
怒りにキミが来た』
って言った

オツケ！

これで文化祭と
体育祭が
終わるまでは
帰りが遅くなっても
言い訳が立つ…

あとは…

俺とひなちゃんが
付き合ってるのも
内緒ね
バレたら多分
帰りが遅い理由の
嘘がバレる

晴れて2人っきり
甘くラブラブ過ごし
たいところだけど

俺の頭の中は
ひなちゃんを少しでも
今の境遇から救うために
何が出来るかで
いっぱいになっていた

分かった

そもそもあんな
変態ジジイの事だ…
ひなちゃんに彼氏が
出来たなんて知れたら
きつと…仲を
引き裂こうとしてくる

結局のところ
あの爺さんは
ひなちゃんに
逃げ場がないのを
良いことに
『支配』してるんだ

だから
彼氏とか友達とか
そういう逃げ場
なりそうなの
存在ができる事を
絶対嫌うはず

そうやって
ひなちゃんを
コントロールして
拳げ句やる事が
アレって

ほんと
許せねえ！！



でも...
難しいのは

う...うん
大丈夫!!



大丈夫?

そんな最低
下劣クソジジイ
でも
ひなちゃんに
とっては
生きるために
必要な存在



ホワァ...

...ひなちゃん
あったかい

警察でも見相でも
通報して
逮捕されちゃえって
他人の俺は思うけど

身寄りのない
ひなちゃんが
それで晴れて幸せか
って言う
多分...それも違う



...うん?

...うん



.....
ムズカシイ

コト...

本当に
難しい...







限られた時間を
こういう風に
過ごすのは



だからせめて
放課後…

ひなちゃん
大好き！

ひなちゃん…



…平気
いつもの事
むしろ日頃より
気が楽に
なってるかも

…本当に
大丈夫？



卒業したら
家を出る理由が
できたから

今はそれで
充分…

プル プル

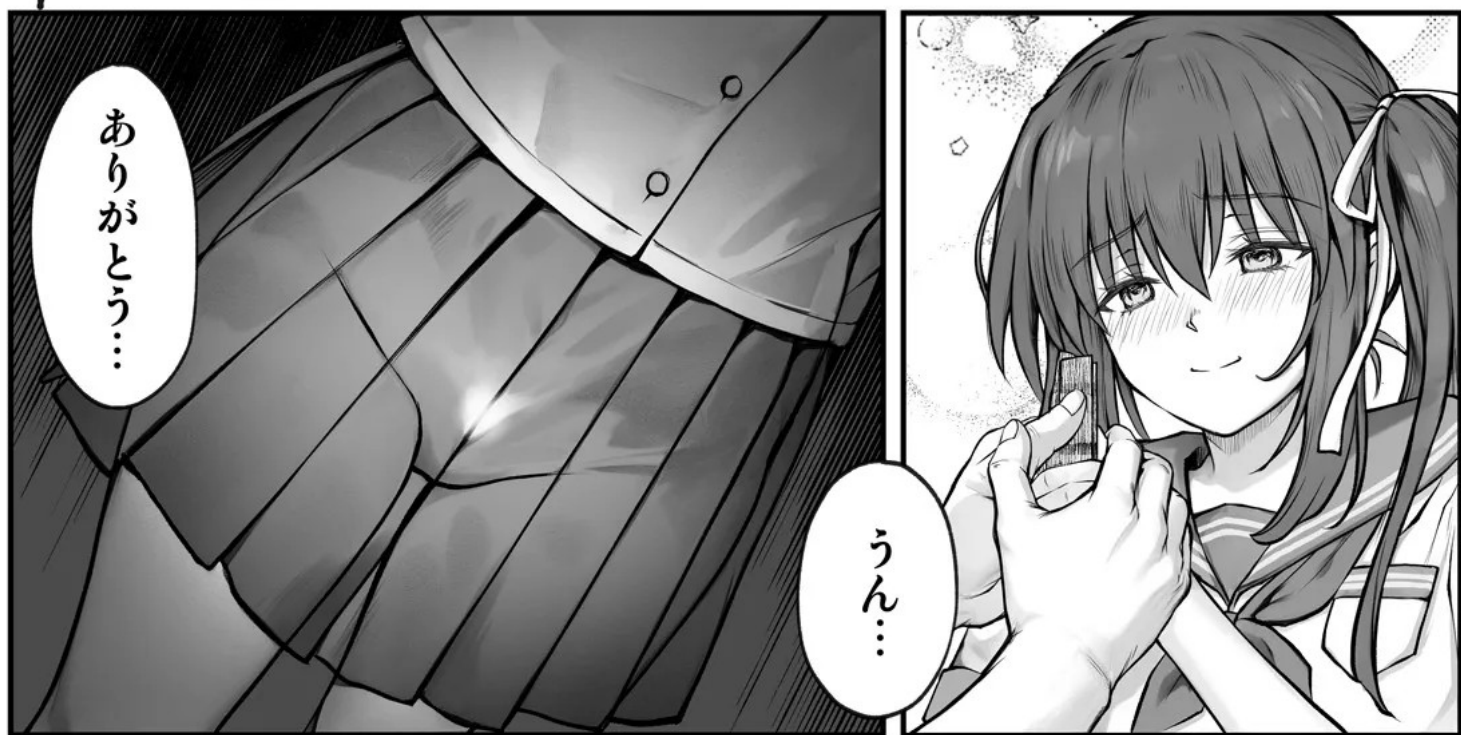


大事な事
だと思う

じゃあ…
家の近くまで行くと
バレるかもだから

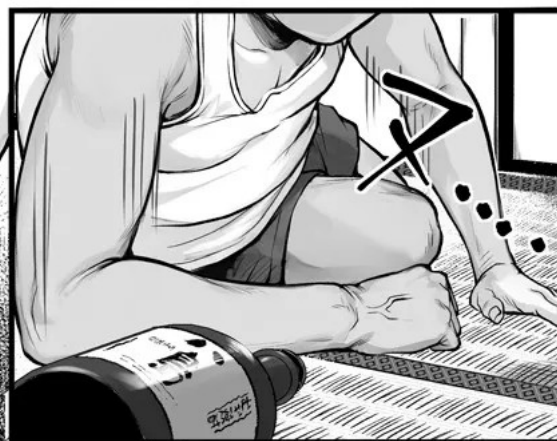
ここで…かな

うん





待ちなさい



分かってる

でもなア…
年寄りにとつちや
夜はもうクタクタ
でよお

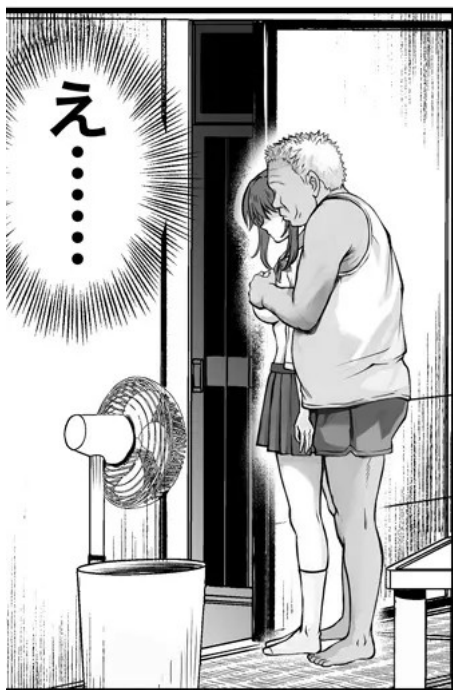
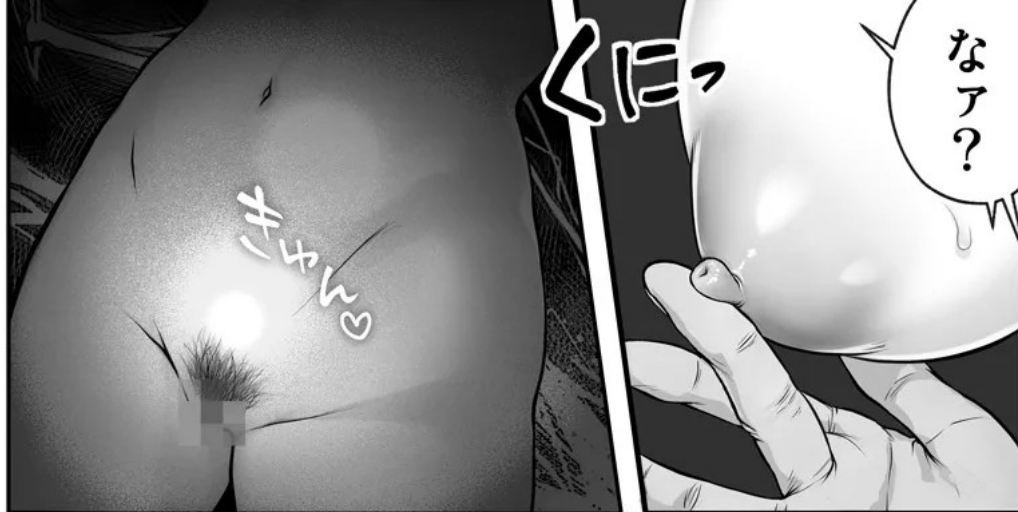
気持ちいい
一発を出すには
日暮れ前には
…な？

やりてえ
んだわあ



最近やけに帰りが
遅いじゃないか

学校行事の
準備が…





治ったの
かな？

…ひなちゃん
もしかしてエ



ほら
やっぱり!!

あ?
?!

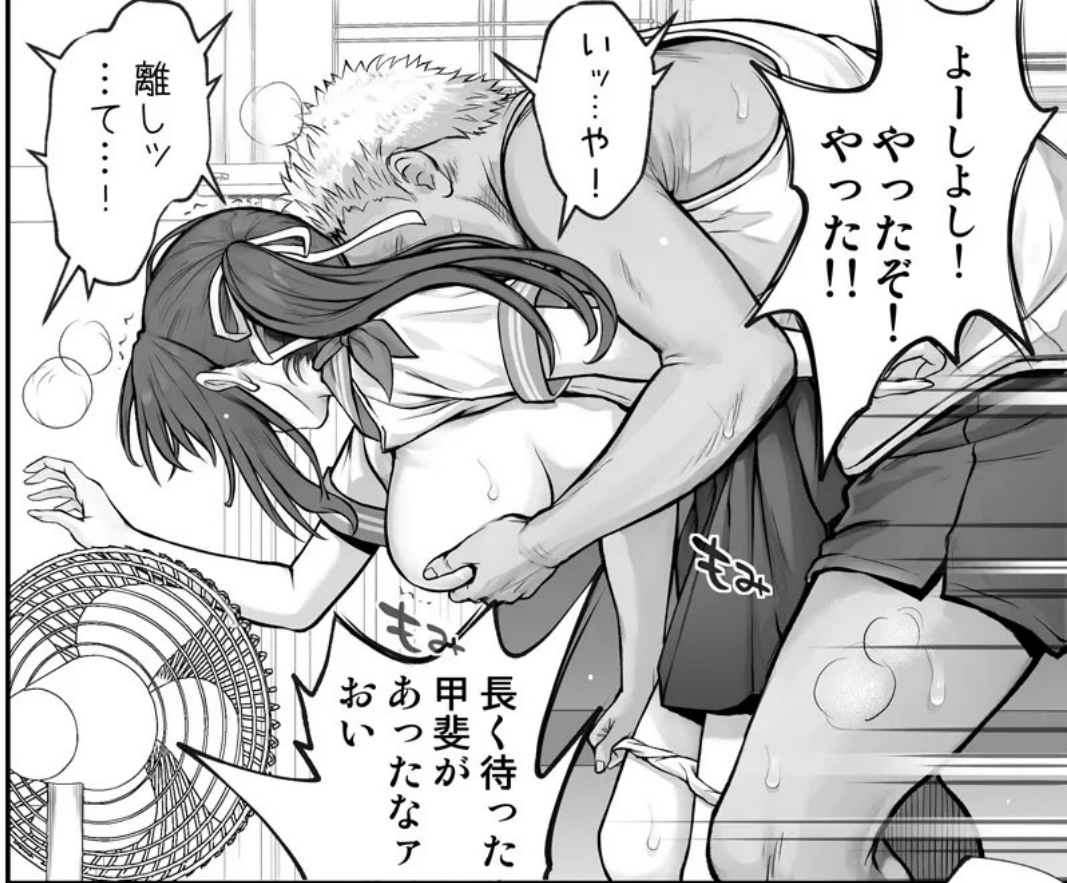
コレ感じて
るよなあ!!

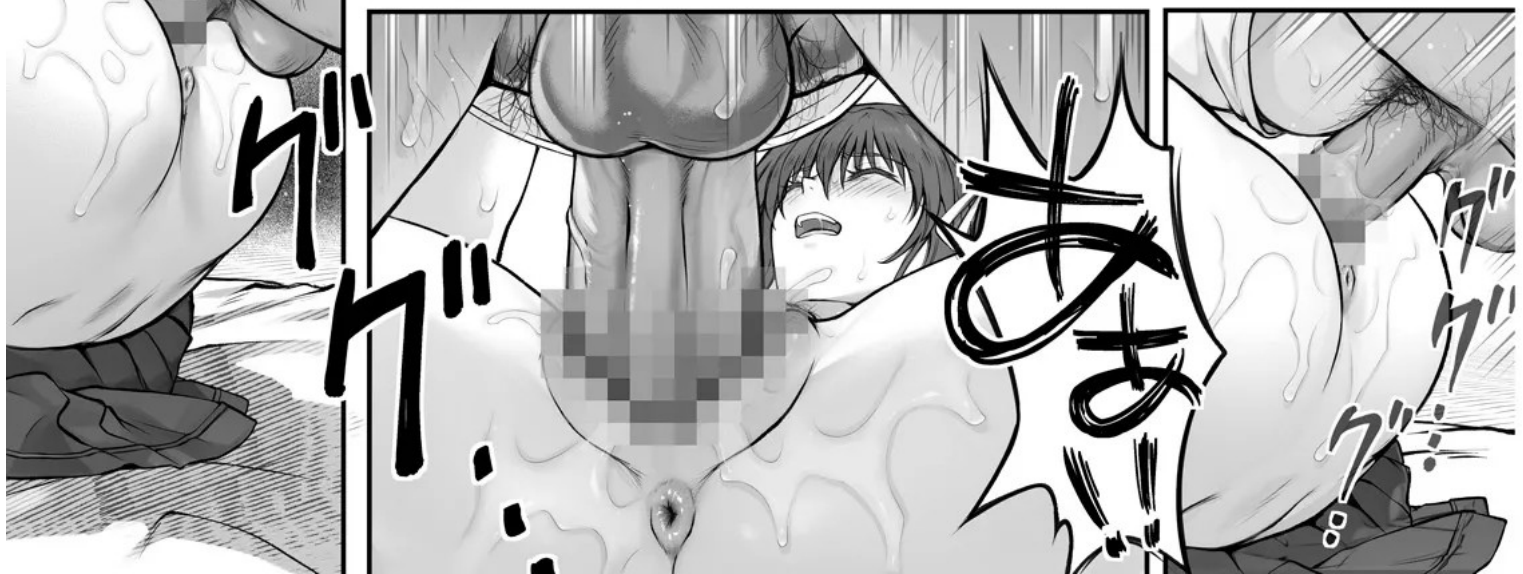


なら
ここも当然…ツ

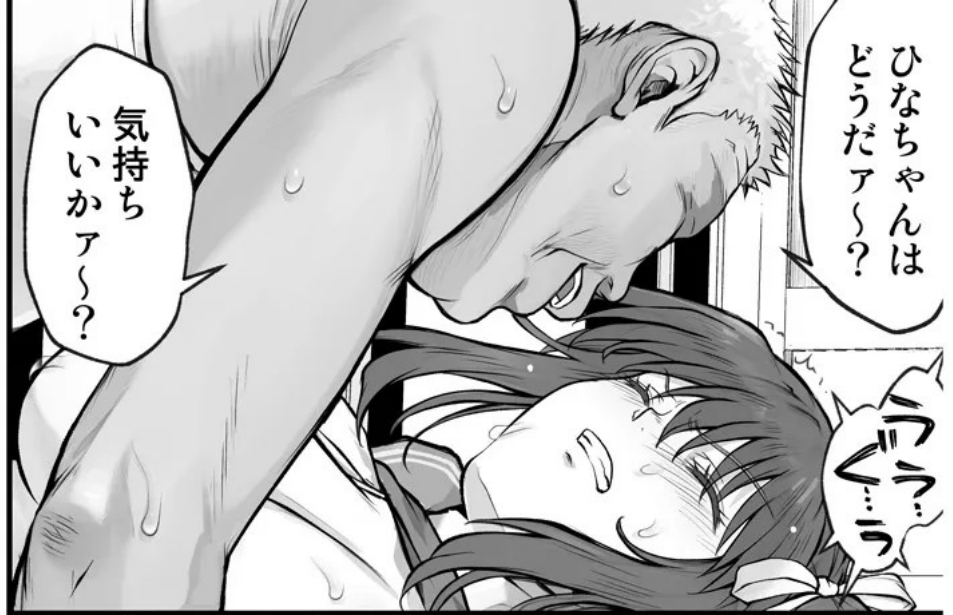
わーわーわー
わーわーわー
わーわーわー

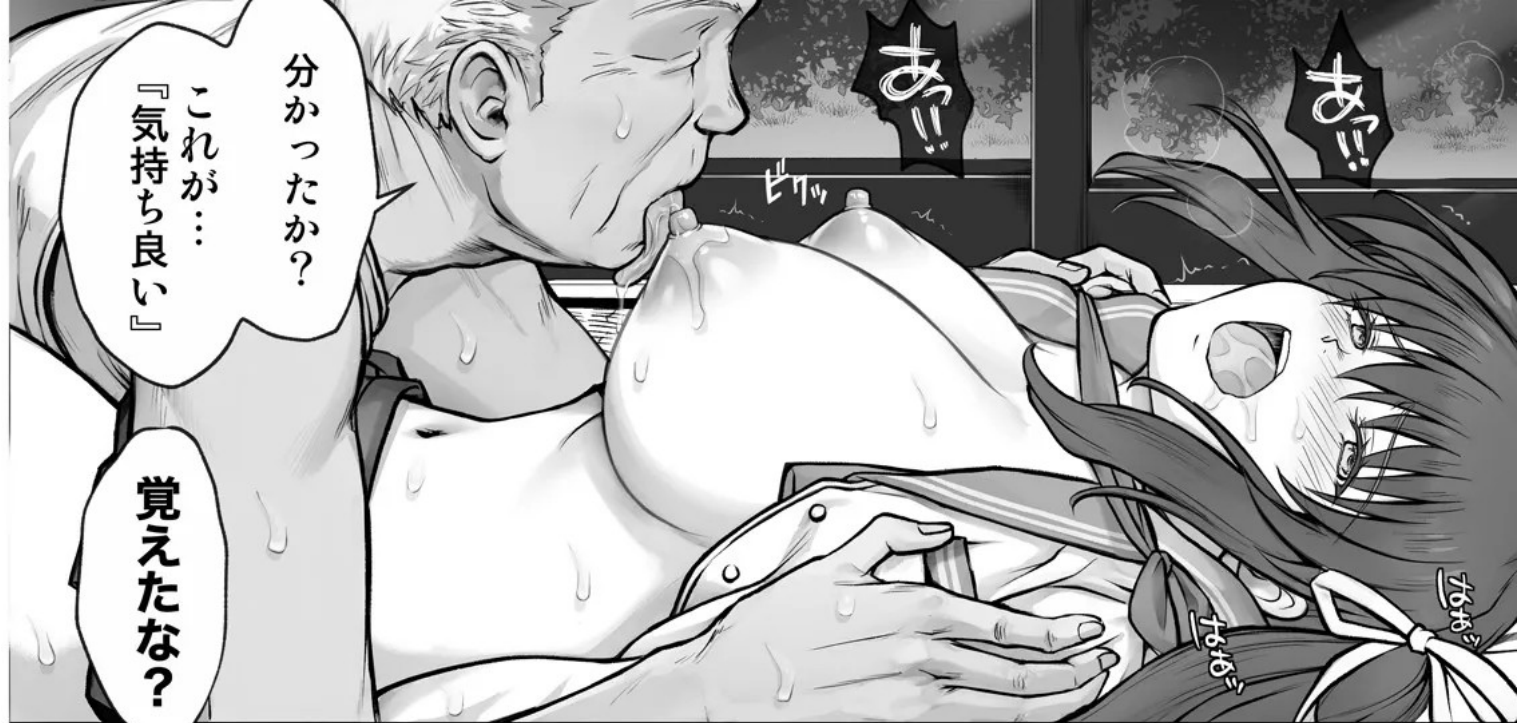


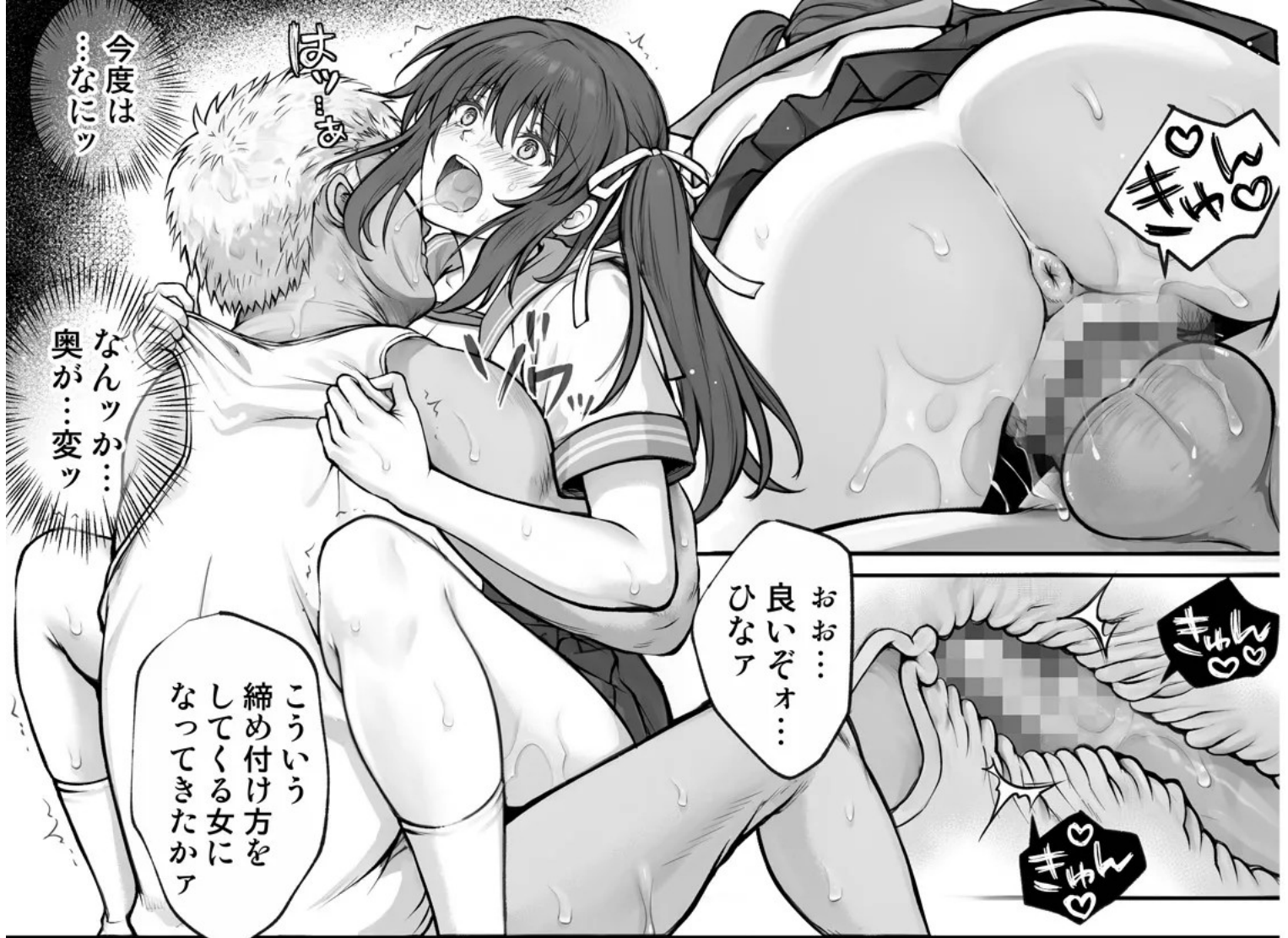
















これで
一回軽く
イっとけ

あッ! あ!!
いいイ!!

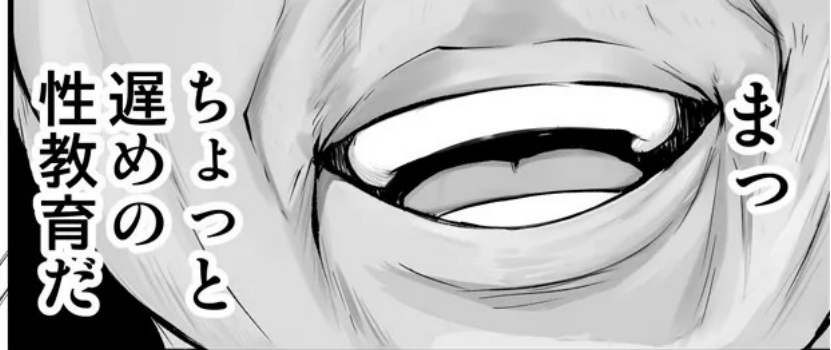
あッ
は!

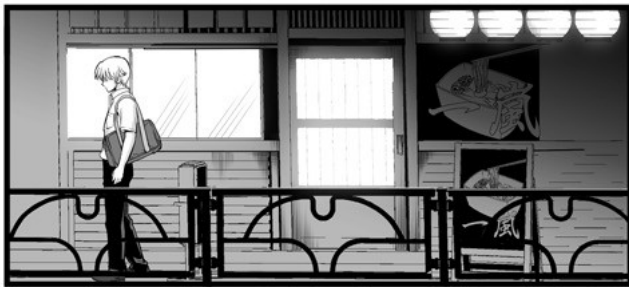


年頃の子はこつちを
オナニーでます
覚えるらしいからなア

あ♡
あんッ

はっ







〇〇
「お前の悪行
知っているぞ」
って
いっそ匿名で
脅迫の手紙送るの
どうだろう



あーっ
あーっ

はあ

あー!!



ひなちゃんが
卒業まで
爺さんの事
我慢するなら

おれも我慢
しなきゃ
いけないって
決めただけど

コン

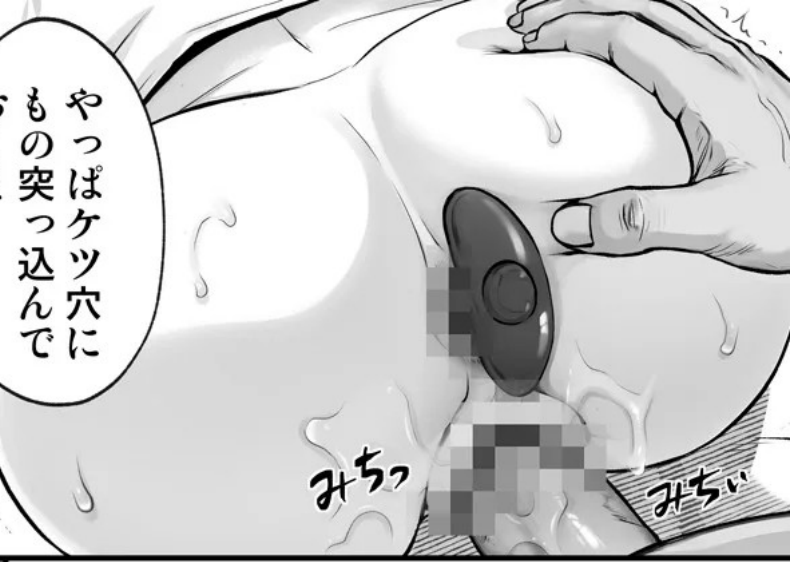
…挫けそう





アソコ
締まるなア

やっぱケツ穴に
もの突っ込んで
おくと



みちっ

みちい



!!?

ふんッ!!

ああああッ...

はっ

はっ

はっ

はっ



い...いッ...

はあ

はあ

ぴく

ぴく



どうだ？
ひな...

は

は

はあ

気持ち
良いか？



すご...くッ...
気持ち良いッ

気持ちいい
...いッ...

きッ...



でも
これ…ッ
多分…

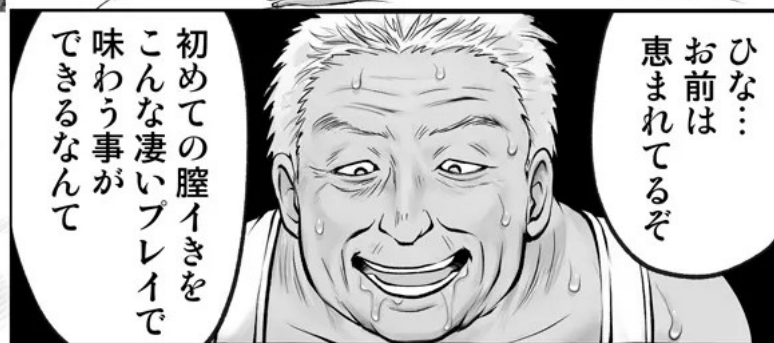
あああッ…
なんか
来てるッ



よーし…いいぞ
この調子なら
膣でいく
覚悟はもう
できてるな？

分か…ら
ないッ

そんなの
分から
ないッ!!



ひな…
お前は
恵まれてるぞ

初めての膣イキを
こんな凄いプレイで
味わう事が
できるなんて



そうだ…
今日からお前を
たっぷり調教して

いつか
俺以外の男と
セックスしても
物足りなくなる
ようにしてやるか



い…やッだ…
イきたくないッ!!

とめてッ!!

お願い
ッいい!!

動かさない
でええ
ッ!!

ズー

ズー







キュン...

ア...ア...ア...

エ...エ...

は...は...は...

エ...

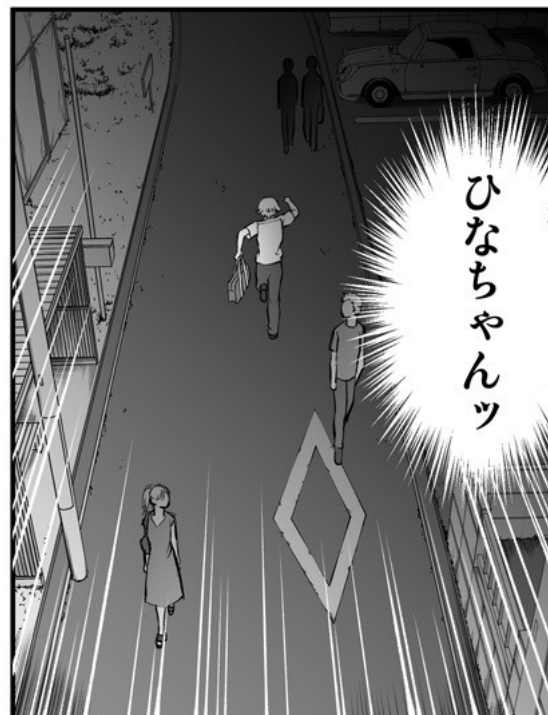
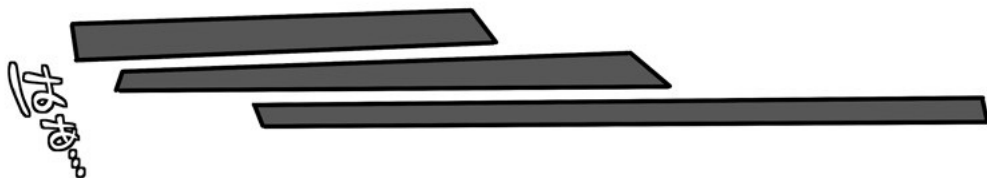
エ...

おおおお...!!















そうだ…
おねだりもつと
してみろ

気持ち
…いいッ

気持ち
いいッ!!

めもも…突いてえ
ええッ!!

もっとおー!
もっといっぱい
突いてえッ!!







ここにいたら
脳が破壊される



もたないッ

ピキッ

ピキッ

心がッ



今日の事も
ひなちゃんのこと
も
いっただん
全部忘れたいッ



忘れたいッ



じゃあ…
もう一回
出すからな

…ッ!?



だめ…
だめ…



ついて…
来てたんだ
…彼……

ぬ…

じゃあ
今までの…
全部見られて
……

ぬ…



あそこまで
言いきって
くれたのに

私の味方だ
って…



……どう
しようッ

私…裏切った



…裏切って
こんな…

イクぞ…!!
ひなア
今度も…
…たつぶり
中に…ッ

イクゾ

あっ…!!

あっ…!!

イクゾ

出すぞ!

出すぞ!

出すぞおお!



ごめん…
傷つけて

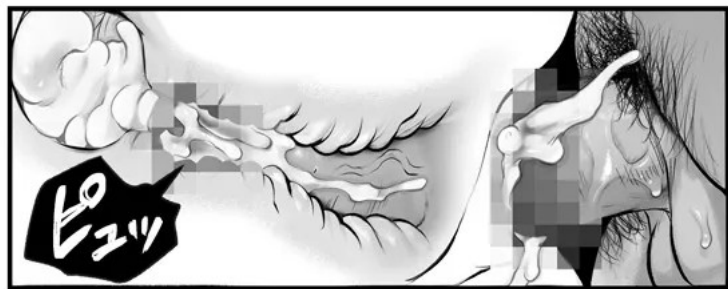
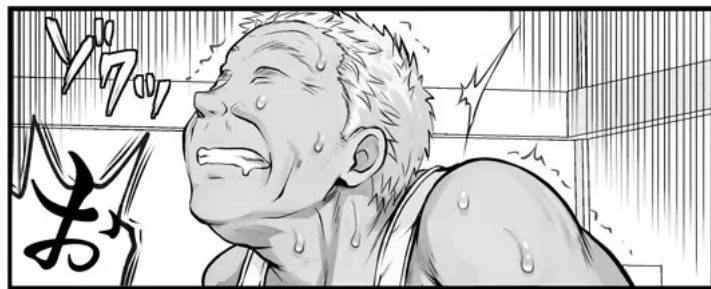
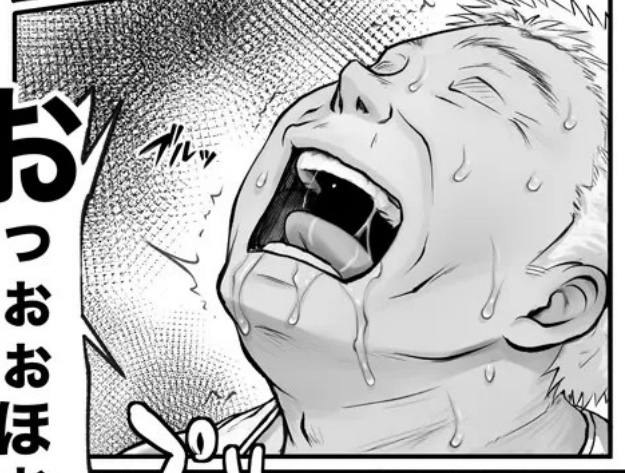
ああああ

ッ





お
っ
お
お
ほ
お
...

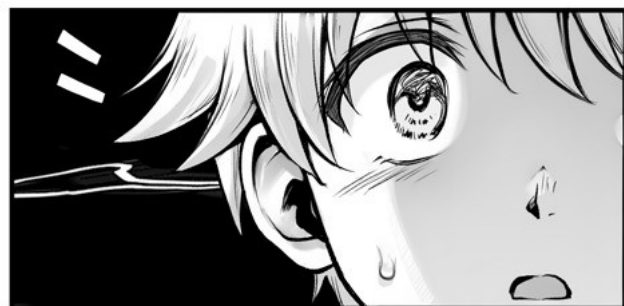




ゴ
ト...



ありがとう…



間違った!!



大間違い!!

去って
どうする
逆だろ
突っ込むべき
だろッ!!

あのジジイが
薬でも盛ったか
知らねーけど

どっちを
信じるかって

じゅうぜろ
10対0で
ひなちゃん!!

俺は
ひなちゃんの
味方!!

ひなちゃんを
離せ
このクソじ:



あのあと…
救急車が
着くまでの間

ひなちゃんと
俺はずっと
抱き合ってた

翌日
落ち着いてから
聞いたところ

あの爺さんは
脳出血で
倒れたらしく



ひなちゃんが
入院の手続きを
している最中に
死んでしまった
らしい



こういう
結果に：

なんて言葉を
かけていいのか
分からなかった

あの爺さん以外
身寄りはいない話しを
聞いてただけに

ひなちゃんは
これで独りに…



その事を思うと

あの夜いつたい
何があったのか
なんて聞くのは
後回しだった

とにかく俺は今
ひなちゃんの
ために出来る事を
必死で考えて
動かなきゃいけない



お願い
しますッ!!



マジで..
言ってるの
アンタ?

携帯解約するし
節約も家事分担も
一層協力するって
誓うから!!

頼む母さん!!
卒業までの間だけ
ひなちゃんを
なんとか家に.....



図々しくても
今はこの手しか
思い浮かばなかった

あと数ヶ月..
学校生活を
残してる身分の俺は
金も力も無さすぎる

だいたいアンタ
卒業までって..
その後は?
大学は?

そこは
変わりなく!
奨学金とって
進学する

それで
自立して
2人で
暮らす!

親には：ひなちゃんが
爺さんからされてた事を
言うわけにいかないから

さぞかし勢いに
任せたノリに
映ったと思うけど

まあ私も
女手一つだから
その子のこと気の毒
だなあと思うよ？

相続はやたら
手間と時間
かかるし

口座なんかもうすぐ
凍結されて
生活どうすんのって
思いはするけど

とはいえ
軽々に
OKとは：

卒業まで
絶対に一線を超えない
という条件のもと

親の説得に
ギリギリ成功

そこを！
ナントカ！！



居候^{ゐこう}って
そんな：

いいよ：そこまで
してもらう義理
無いから

俺も
無理やりな事
してるって
自覚はある

でも今は：
頼れるもの頼って
自立の準備した方が
良いと思う！！

親はOKって
言ってる！

ここで俺たち
助け合わないと
良くない方向に
行く気がするんだ！！

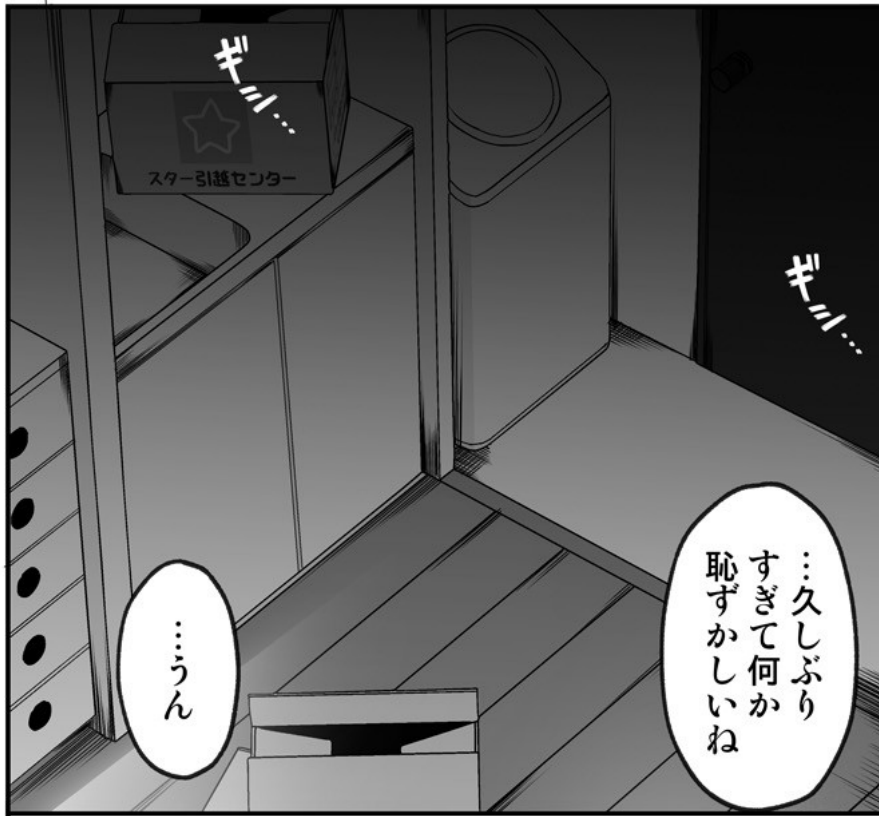
……

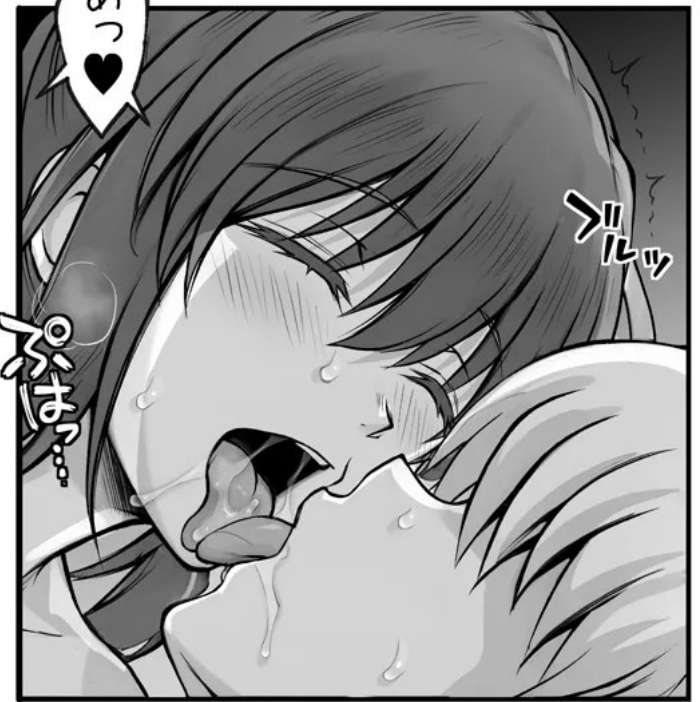


そうやって何とか
落ち着くところに
収まるように
いつてからは

卒業まで
あつという間
だった









俺：絶対
ひなちゃんの

味方だから!!



まだだって…
少し触れた
ぐらいだよ?

それなら
ローションとか
塗らないと

大丈夫…



グッ

急に
どうしたのツ?!
ひなちゃん!

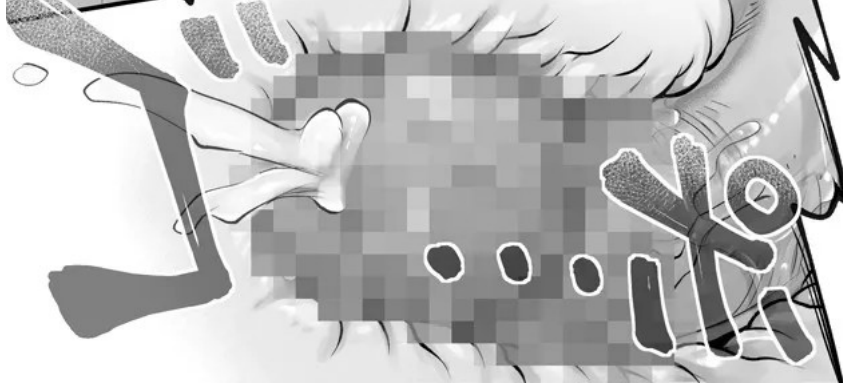
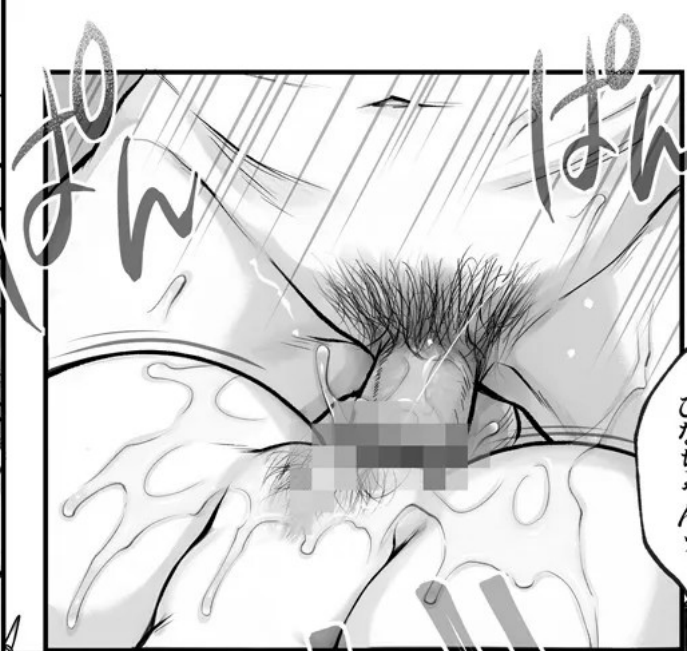
…わッ…

挿れて…
ほしい













いやあ無事に新生活
スタートできて
良かったあ

はい

うん…でも
お義母さん
大丈夫かな…

いきなり
一人で…

ま…まあ俺が
自立したら
仕事セーブせずに
全力出せるって
言ってたから…

婚活も
するぞーって
張り切って
たし

いやでも一応…
連絡しとくか

うん…
そうして
ほしい

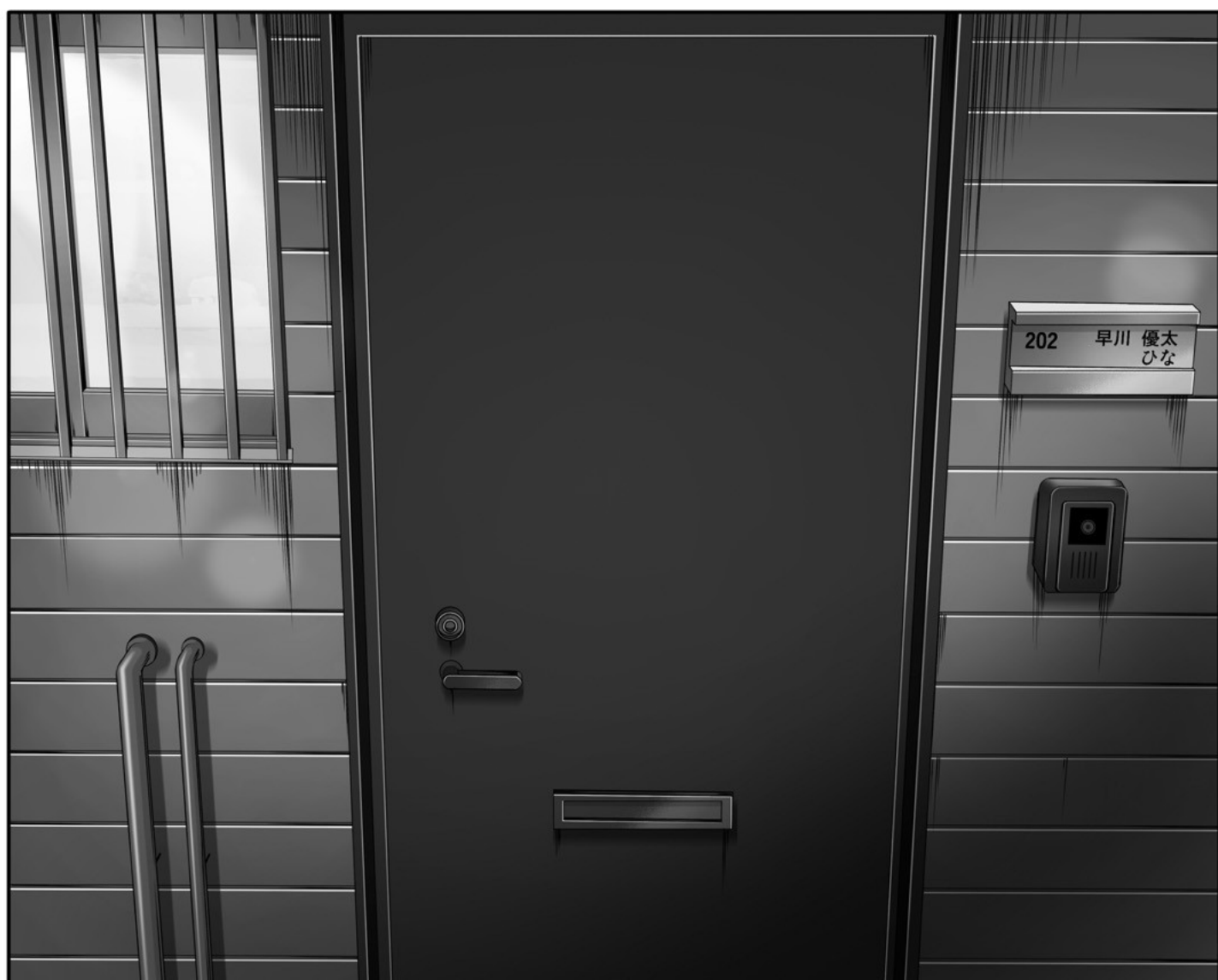
自分たちだけ
幸せになる
みたいで何か…
申し訳なくて

カパッ

あつ…

それって…

ひなちゃん
今…幸せって
こと？



202

早川 優太
ひな

END

